

**令和2年度**

**教育委員会事務事業点検・評価報告書**

**(令和元年度分)**

**寒河江市教育委員会**

## 目 次

I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1. 制度の概要及び目的	1
2. 点検・評価の対象事業	1
3. 点検・評価の方法	1
4. 学識経験者の知見の活用	1
II 教育委員会の活動状況	2
1. 教育委員会の開催	2
2. 教育委員会協議会の開催	3
3. 教育委員会会議以外の活動	4
III 施策の体系	5
IV 外部評価委員の意見	7
1. 総括	7
2. 施策ごとの意見	8
V 点検・評価対象事業一覧	15
【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	17

# I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

## 1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律改正を受け、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の方から教育行政について理解を深めていただくため、平成21年度より、3名の外部評価委員の方々から意見をいただき、点検・評価を実施しております。

今年度は、平成31年（令和元年）度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

## 2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成31年度に実施した教育委員会所管事業のうち、事業規模及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な42事業を対象に実施しています。

## 3. 点検・評価の方法

点検・評価の対象とした42事業については、「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

## 4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

寒河江市教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
三 浦 智 子	山形大学大学院教育実践研究科 准教授
菊 地 宏 哉	元教員
秋 場 礼 子	元市体育振興公社事務局長

II 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催

開催日	区分	議案 番号	会 議 内 容
令和元年 5月30日	定例	17	令和元年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		18	市議会提出議案（柴橋地区多世代交流センター建築工事請負契約の締結について）に対する意見の申出について
6月28日	定例	19	寒河江市社会教育委員の委嘱について
		20	寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について
		21	寒河江市図書館協議会委員の任命について
		22	寒河江市教育事務評価委員の委嘱について
		23	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		24	寒河江市立学校のあり方検討委員会委員の委嘱について（追加）
7月22日	定例	25	令和2年度使用教科用図書の採択について
		26	寒河江市図書館協議会委員の任命について
8月26日	定例	27	教育委員会の事務事業（平成30年度分）の点検・評価について
		28	令和元年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		29	消費税の税率の改定に伴う使用料等に係る関係条例の整理に関する条例の制定に対する意見の申出について（追加）
11月25日	定例	30	令和元年度教育費補正予算案に対する意見の申出について

開催日	区分	議案番号	会議内容
12月23日	定例	31	幸生小学校のあり方について
		32	教育委員会の権限に属する事務に係る教育長の臨時代理の承認について
		33	寒河江市指定有形文化財の指定について
2月25日	定例	1	令和元年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		2	令和2年度教育費予算案に対する意見の申出について
3月10日	臨時	3	令和2年度寒河江市立小中学校教職員人事異動内申について
3月24日	定例	4	令和2年度教育行政の一般方針について
		5	公民館長の任命について
		6	寒河江市立図書館長の任命について
		7	寒河江市立小中学校管理規則の一部改正について
		8	寒河江市中学校給食費徴収条例施行規則の一部改正について
		9	寒河江市学校運営協議会規則の制定について
		10	寒河江市スポーツ振興基金運営委員会規則の一部改正について
		11	公民館事務分掌規程の一部改正について
12	令和2年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について		

## 2. 教育委員会協議会の開催

○開催回数 平成31年4月22日 ほか12回

○報告及び協議内容

- ・令和元年度市民講座「さくらんぼ大学」について
- ・第43回“さがえ”さくらんぼマラソン大会について
- ・さがえトライアスロンフェスティバル2019について
- ・寒河江市学校の在り方検討委員会について
- ・小学校給食調理業務の民間委託について
- ・幸生小学校の今後のあり方を考える懇談会について
- ・コミュニティ・スクールの導入に向けた研修会について
- ・総合教育会議について
- ・市教委の視察研修について

### 3. 教育委員会会議以外の活動

#### (1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
6月21日	幸生小学校	7月8日	陵南中学校
6月27日	高松小学校	11月21日	寒河江小学校
7月3日	西根小学校	11月26日	白岩小学校

#### (2) 総合教育会議

実施日	内 容
令和元年 11月6日	(1) 寒河江市立図書館の取組と今後のあり方について (2) 高齢化社会に向けた生涯スポーツの振興について
令和2年 2月14日	(1) これからの寒河江市の学校のあり方について (2) コミュニティスクールについて

#### (3) その他調査・研修活動

実施日	内 容
平成31年（令和元年）	
4月15日	教育委員会所管事項説明会
5月15日	小学校陸上競技大会
5月29日	山形県市町村教育委員会協議会定期総会・研修会（山形市）
6月28日	西村山市町教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会（大江町）
7月9日	市小学校水泳競技大会
8月2日	山形県市町村教育委員会大会（酒田市）
8月14日	市成人式
9月20日	小学校交歓音楽会
10月9日	公開授業研究会（白岩小）
11月8日	公開授業研究会（柴橋小）
11月13日	公開授業研究会（陵東中）
11月26日	視察研修（東根市まなびあテラス他）
令和2年	
3月31日	退職教職員感謝状贈呈式

### Ⅲ 施策の体系

## 第2次寒河江市教育振興計画

《基本目標》 ふるさとを愛し、寒河江から夢のある未来を切り拓く人づくり  
～ 共に学ぶ 共に育む ～

### 《基本方針》

### 《主要施策》

### 《具体的な施策》

#### 【基本方針1】

豊かな心と健やかな体を育む

1 思いやりの心や規範意識の醸成

多様な体験と規範意識の醸成

基本的な生活習慣の確立

2 命や生き方を大切にする教育の推進

学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進

3 健やかな体を育む取組の推進

元気に遊ぶ子どもの育成

学校体育の充実

4 食育の推進

豊かな心と命を育む食育の推進

幼保小中や家庭、地域が連携した食育の推進

地産地消の推進

5 心を育む読書活動の推進

本が好きな子どもの育成

自主的な読書活動の支援

6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進

芸術文化に触れる機会の充実

芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造

#### 【基本方針2】

学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む

1 学びの充実と確かな学力の育成

学ぶ力を高める教育の推進

主体的な活動ができる力の育成

多様な学習環境づくり

2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進

特別支援教育の充実

教育相談機能の充実

3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進

ICTを活用した情報教育の推進

外国語(英語)学習や国際理解教育の推進

4 発達に応じた学びを育む教育の推進

幼児教育の充実

幼保小中高の連携の推進

5 キャリア教育の推進

社会的・職業的自立に向けた教育の推進

#### 【基本方針3】

生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する

1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進

生涯を通じた学習機会の充実

共に学び合う体制づくり

2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進

誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進

競技力向上の推進

スポーツ環境の整備と充実

スポーツを通じた地域活性化の推進

**【基本方針4】**

ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする心を養う

1 ふるさとへの愛情と誇りを育む教育の推進

地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進

2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進

ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護

民俗芸能や伝統行事の保護と伝承

史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用

**【基本方針5】**

教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する

1 信頼される教育の推進

特色ある教育の創造

信頼される教育環境づくり

2 安全安心で充実した教育環境の整備

安全教育の充実

安全管理の徹底

3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化

地域の特色を生かした公民館活動の推進

活力ある地域をつくる地区公民館運営

生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化

4 開かれた教育行政の推進

信頼に応える教育行政の推進

教育情報の公開と共有化の推進



## IV 外部評価委員の意見

### 1. 総括

- 「事業評価」とは、新規事業や継続事業の必要性・有効性・効率性、得ようとする効果などについて評価することがそのねらいとされるものである。本市教育委員会事務事業点検・評価においても、定量的なデータに加え、必要に応じて定性的なデータに基づき、教育委員会による事業の妥当性が検証されているといえる。一方で、例えば、学校教育における重要課題とされる「学力向上」や「不登校問題への対応」のように、個々の事業が単独で効果を生み出すわけではない政策課題に関しては、関連する事業が相互に及ぼし合う影響を考慮することにより、限られた財源の中でそれぞれの事業の効率を高めることも可能となるのではないかとと思われる。

特定のテーマについて、学区や学校単位でその取り組みを評価・研究する試みはすでに展開されているが、市の教育政策に関しても、各事業間の相互作用を考慮し、その重点の実施の在り方等を検討する立場から、特定のテーマに注目し、それに関連する事業の効果について、中長期的・総合的に評価を行うことも、併せて必要とされるのではないかと。

- 時代の変化に応じて、市民への行政サービスの内容も大きく変容し、それに対して、本市教育委員会も積極的に各事業に取り組み、大きな成果を上げていていると思います。

10年前と比べると、事業内容も大きく変化してきていることがわかります。一つ一つ例は挙げないまでも、行政サービス内容が広範にわたってきています。それに従事する職員の皆様の先見の明や各種事業の企画運営に積極的に向かわれていることを感じ、一市民として感謝の気持ちでいっぱいです。

今後とも、ますます事業内容や予算が膨らむ中で、スクラップアンドビルド方式を根幹に据えながら、思い切った事業の精選を図っていただき、さらに充実することを願っています。

- 教育委員会事業に限らず、少子化や過疎化、さらには子供の貧困問題などの社会背景をもとに、手厚い支援を行い子育て世帯の流出を食い止め、さらには本市への流入をねらって様々な施策が行われています。これらのことは、世論の流れや現在の社会風潮の中で多くの自治体で行われていますが、「人を育てる」教育分野においては教育委員会としての信念を明確に示し、必要に応じてどこかで線引きしながら進めることも大切だと思います。そうしないと、行政依存の強い市民を育てることにもなりかねません。それに応えようとするともますます市の財政が困窮していくのではないかと懸念されます。

- 点検・評価の対象とした42事業について、事業ごとに縦割りでの点検・評価となっていますが、それぞれの事業が絡み合っているところがあり、単体では施策の評価が難しいところがあると思います。

また、事業を連動しての評価や、総合的に効果を検証することも必要かと思えます。

## 2. 施策ごとの意見

### (1) 生涯学習の推進・充実

#### 【青少年健全育成事業】

- 平成31(令和元)年度は、グループでの補導が多く、20歳未満の補導件数が前年度より増加したとのことであった。併せてネット犯罪に巻き込まれる事案が増えているとのこと、新たな対応の検討が急務であると思われる。
- 一昨年度と昨年度を比較して、「夕刻街頭指導」は5回の減で18回実施になっています。事業の評価の(3)に「街頭指導のあり方について検討が必要」とありますが、内容の検討なのか、実施回数のさらなる減少に向けての検討なのかを明確にして、形骸化しないようにしてほしいです。  
それよりも、時代の進展の中で増加傾向にある『ネット犯罪』の犯罪防止キャンペーンや意識を高める講演会の実施など、さらに市民への警鐘と防犯意識の醸成を行う事業が求められているのかもしれない。
- 夕刻や夜間街頭指導など地道な活動は重要であり、効果もあげていると思いますが、これからはネット犯罪に巻き込まれる青少年被害の増加に対応する対策も重要かと思います。具体的な対策や方策が記されていないので、喫緊の課題として取り組んでいただきたいと思います。

#### 【芸術文化振興事業】

- 幅広く、年代ごとのニーズに応じた事業が展開されている様子がうかがえる。  
コロナ禍において停滞しがちな、市民による芸術文化活動の支援の在り方についても検討いただきたい。
- 各年代に応じた様々な事業が展開されています。年代やねらいに即した事業の展開で、高い集客率を誇っているのはすごいことです。芸術文化に身近に触れられる機会ですので、アンケート等を活用しアンテナを高くしながら今後ともよろしくお願いします。
- 自主事業はそれぞれの特色を生かし集客率も高く、市内外での認知度の高さが伺えます。慈恩寺コンサートや若者向け音楽イベントについては、来場者の市内・市外在住の大まかな割合も、評価の要素の一つだと思います。来場者のアンケートを参考にしながらも、これからは市民の要望が届くようなイベントの選択を期待します。

#### 【美術館運営事業】

- SNSなどによる広報活動や、「寒河江市美術館企画展事業実施要綱」を新たに制定したとのこと、幅広いサービス提供に向けた取り組みがうかがえる。  
コロナ禍において停滞しがちな、市民による芸術文化活動の支援の在り方についても検討いただきたい。
- 昨年度、「来場者の広がり結びつくよう、・・・(略)・・・市外へのPRについても検討していきます」との返答いただきましたが、その視点をすぐに取り入れて事業の推進を図られ成果を上げていることが感じられました。
- 寒河江市出身の写真家「鬼海弘雄写真展」は、県内外から多くの来場者があり、この企画が成功したものと大いに評価したいと思います。今後もこの様な企画展を期待します。また、商業施設の中にある美術館として、全館での「コア」などお店を巻き込んでの取り組みができ

ないかなど、新しい形での事業展開も検討していただきたい。

#### 【公民館活動事業】

- 「2. 事業の概要-事業内容-(2) 中央公民館では、…(略)…寒河江市少年少女合唱団の育成指導を図る。」とあります。近年、団員が20名前後ですが、団員数に関係なく今後も継承していかなければならない事業なのか。さらに市民合唱団も含めて拡充していかなければならない事業なのか。それとも見直しが必要な事業なのか。
- 特色ある公民館づくりは、活動の拠点として地域の活性化に繋がっていると思いますので、引き続き支援が必要であると考えます。  
また、柴橋地区公民館は、コミュニティセンター事業との二本立てで、新しい形を注視していきたいと思います。

#### 【放課後子ども教室推進事業】

- 放課後における子どもの安全確保の必要性を契機に10年にわたり継続されてきた本事業であるが、体験型の学習活動の展開など、教育ニーズに応じて活動の幅を広げるとともに、例えば大学生による協働活動支援員・サポーターの増員を行うなど、実施環境のさらなる整備に力を入れて取り組まれていることがうかがえる。  
令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、人数の多い活動については急遽中止となったものもあるとのことであるが、今後に向けては、3密を回避した形での、別様の放課後子ども教室の活動の在り方の検討をも含め、さらなる工夫を期待したい。
- 子ども達にとって、学年間や地域の方々との交流は、社会性や自然体験の大事な機会となっているので、引き続き継続していただきたいと思います。また、指導員の後継者不足に対し、マンパワーの育成のためどのような取り組みをしているのか。経験者(卒業生)が指導員になってくれるという、好ましい流れを期待するほか、人材の掘り起こしにも努めていただきたい。

#### 【公民館整備事業】

- 地域活動の最も近い活動拠点である分館を、安心・安全に利用してもらうためにも耐震補強未対応の分館に対し、耐震化を進めていただきたいと思います。それぞれの分館で未対応の原因があると思いますが、事業が進むことを願っています。

### (2) 読書活動の推進・充実

#### 【読書の盛んな学校づくり事業】

- 昨年度事業に『読書活動推進会議』が設けられたことにより、情報交換や成果と課題の共有化が図られ、さらなる推進、そして市立図書館との連携の進展が期待されます。

#### 【図書館管理運営事業】

- 日頃本を手にしない人からみれば、図書館の敷居は高いと感じているのではないでしょうか。利用者数や利用状況のそれぞれの数字を伸ばすためには、未利用者から足を運んでいただく機会づくりも必要かと思います。今までも実施しているとは思いますが、これからも機会の提供をよろしく願います。

### 【図書館資料等購入事業】

- 小中学校との連携で購入した図書資料を学校での教育活動に活用するといった取り組みもあり、積極的に幅広い図書資料の利活用が進められていることがうかがえる。

### 【読書普及事業】

- 様々な事業へ取り組む中、内容を改善・充実して実施した事業の成功は、今後の読書普及に繋がるものと期待します。これからも、事業の見直しを行いながら、広い年齢層へアピールできるような事業展開を継続していただきたいと思います。

## (3)生涯スポーツの推進・充実

### 【生涯スポーツ振興事業】

- 生涯スポーツ推進事業の参加者が増加しているのは、市民への広報やニーズに基づいた事業が展開されているということだと思います。
- スポーツ人口を拡大するためには、日頃からスポーツに親しんでいる方から継続してもらうことも大切ですが、スポーツから遠ざかっている方を如何に取り込んでいくかが増加につながると思います。スポーツに親しむ機会の提供はできていると思いますが、新しい人を取り込む工夫を、今後ともお願いしたいと思います。

### 【体育施設整備事業】

- 施設整備については、市全体の整備計画や優先順位があるとは思いますが、緊急的な事案にしか対応できていないように思います。また、それが大きな修繕になると、設備等の納品に時間がかかり使用できない期間も長くなり、利用者に不便をきたすことになるので、事前のチェックに注意を払ってくださるようお願いします。

### 【地域スポーツ活性化事業】

- スポーツツーリズムの理念の下、スポーツを通じた地域活性化に向けた積極的な取り組みがうかがえる。  
コロナ禍において、移動や3密を回避した活動の展開が求められるなかで、今後に向けて、地域スポーツの活性化に関しても、新たな手立ての工夫が期待されるものと思われる。
- 体育協会関連事業のスポーツ講演会は、参加者からみて実質的に市民全体を対象にした講演会にはなっていないようで、講演会のあり方や効果については再検討が必要だと思います。折角の機会を有効に活用できるよう、見直しも含め工夫していただきたい。マラソン、トライアスロン大会は、交流人口増に寄与していると思います。

## (4)特色ある学校づくりの推進・充実

### 【さがえっこ育み推進事業】

- 地域のニーズと学校のニーズをつなぐものとしてコミュニティ・スクールが位置づけられ、学校教職員の人事異動に左右されない継続的・安定的な「学校・家庭・地域の連携」を支えるものとして、地域コーディネーターの役割が期待されているが、「地域のニーズ」は年代や家庭等によっても異なり非常に多様である。引き続き、保護者・地域住民の

子どもの成長・発達への関心や教育に対する意識を高めるような取り組みを期待したい。

- 地域とともにある学校づくりを目指したコミュニティ・スクールの取り組みに期待します。背負い込みすぎている学校の負担軽減を図り、地域の声をより多く取り入れながら、学校と地域の遊離を少なくして一体となって子どもの教育を考える機会を作っていくってほしいと思います。子どもにとっても『ふるさと』をしっかりと見つめることができ、身近な地域素材をもとに調査や実体験を通して探究学習まで高めてほしいと思います。

#### 【特色ある学校づくり支援事業】

- コミュニティ・スクールに於いて「特色ある学校づくり」を地域の方と共有しながら、地域の声を取り入れ、ご協力をいただきながら、これまで以上に子供たちにとって豊かな教育活動になるようにお願いします。
- 家庭や地域と連携した取り組みは、それぞれ工夫を凝らした特色ある事業となり、ふるさとへの愛着や豊かな心と健やかな体作りに繋がっているものと思います。今後とも、学校独自の活動や児童の主体的な活動に期待します。

### (5) 児童生徒の学ぶ力の育成

#### 【教育研究推進事業・学力向上推進事業】

- 学力対策や授業改善に向けた取り組みの充実や重点的実施の様子がうかがえる。働き方改革に伴い、学校では、勤務時間内での教材開発や授業研究等の実施状況に変化が生じているのかどうか、懸念されるところでもある。授業研究時の指導案の共有など、新たな工夫もなされているが、教員の自発性や創造性を損なわず、指導力の向上をより効率的に実施していくための手立ての追究が、これまで以上に期待されているように思われる。
- 事業目的「教職員の資質を向上させるとともに…」のために、教育研究所における研修活動が保証されてきました。それに加えて、今後は日常の教育活動における各学校のマネジメントを短期スパンで繰り返すことにより、各学校の教育活動全体の質を向上させることができると考えます。その結果として学力の向上も図られると思います。

#### 【理科教育センター運営事業】

- 小学校におけるプログラミング教育の完全実施など、新しい事業に対応した研修は時期を得たもので、有効な研修ができたことは評価できると思います。今後も、時代の流れを読んだ研修の実施をお願いします。

#### 【英語力育成事業】

- ALTやAETの派遣は、児童生徒がネイティブの発音に触れる機会を多く創出し、教員の指導力向上にも寄与してきたものと推測されるが、具体的に、児童生徒の英語力や教員による指導の内容にどのような影響をもたらしているのかという点について、引き続き分析を行いながら、派遣の在り方を検討する必要があると思われる。
- グローバル化の中、英語力を身につけることは必要不可欠となっています。ALTやAETと連携し、英語を学ぶことの楽しさが伝わるよう事業を拡大して進めていただきたい。子ども達の将来を見据え、特色ある取り組みをお願いしたいと思います。

### 【教育相談事業】

- 教育相談員と学校との情報共有や、外部機関との連携など、地域をベースにした福祉の充実という視点に立った取り組みがなされ、中学校段階における不登校生徒数が減少するなど、一定の効果を上げている様子もうかがえる。今後における不登校の未然防止や早期対応に生かすために、ケースごとの対応について詳細な分析を蓄積していくことも必要ではないかと思われる。
- 不登校関連の相談事業の重要性はもちろんですが、高機能発達障害が疑われ特別支援の必要な子どもを持つ保護者からの教育相談も受け付けているのでしょうか。そのようなニーズも高まってきていると感じます。
- 不登校児童生徒への取り組みは、効果が数字では表れない部分も多いと思います。これからも、居場所づくりと心に寄り添った取り組みをお願いしたいと思います。

### 【学力向上支援員配置事業】

- ここ10年来、ニーズはどんどん高まってきています。特別に支援が必要な子どもには支援員がついて指導・支援を行い、確かな成果を上げていると思います。  
一方、異質な子ども同士が関わって、折り合いをつけながら社会性を育む場面が少なくなっているようにも感じます。これが、極論になりますが、同質なものを求め異質なものを排除するようなイグムに発展しないか心配にもなります。  
子ども同士の関わりを大切にしたい支援員の関わり方について検討していくことも大切だと思います。

### 【さがえっ子ライフデザインセミナー事業】

- すばらしい、生き方に関する大切な事業だと思います。
- 早い時期に自分の人生について考えるきっかけを持つことは、目標をもって努力し進んでいくことに繋がると思います。将来のライフデザインを考える機会を、引き続き提供していただきたいと思います。

### 【小中学校ICT活用支援事業】

- 校務支援システムの導入は、校務改善に大きく寄与していると思います。  
また、今年度中に全児童生徒分のタブレットを整備するとのこと。導入後は学習における活用場面の実践を集め、精選し、学校教育になくてはならないツールとしての実践例をまとめ、ぜひ市内外に発信して行ってほしいと思います。
- ICTの活用は、避けて通れない時代です。そのための設備等の環境整備や備品の整備など、重要・緊急分野として取り組みが必要で、順調に進んでいることは評価できると思います。ハード面はもとより、マンパワーなどのソフト面でも事業の拡大に期待します。

### 【就学援助事業(小学校)(中学校)】

- 平成30年の生活保護法改正により、学習支援費の支給対象が、クラブ活動(学校でのクラブ活動に限定せず、地域住民や保護者が密接に関わって実施される活動等も含まれる)費に特化した実費支給に変更され、また、大学等進学支援として「進学準備給付金」が創設されるなどの見直しが実施されている。こうした教育扶助・生業扶助の具体的内容とその改革動向(新型コロナ感染対策としての休校等に伴う支援の実施を含む)を踏まえつつ、

本市における家庭の教育費負担及び家庭間格差の実態に照らし、必要な就学援助の在り方について、引き続き検討をいただきたい。

#### 【学校給食事業(小学校)(中学校)】

- 地場農作物の積極的な利用は、将来の消費拡大にも繋がるので、是非継続して欲しい。

#### (6)文化財の保存・活用の充実

##### 【市史編纂事業】

- 今後、市史編纂専門員の体制は、問題なく維持していくことができるのでしょうか。市史編纂事業計画は、長い期間を要すると思いますが、郷土資料の散逸・滅失を防ぎ調査研究していくのは、人的なものも含め大変なことだと思います。

##### 【埋蔵文化財調査事業】

- 埋蔵文化財フェアの来場者が、前年度と比べ倍増しているのは、企画の成功によるものと思いますので、今後も新しい発想での企画を期待します。

#### (7)教育行政に対する関心・意識の高揚

##### 【教育委員会事務局管理事業】

- 幸生小学校を閉校することにより、地元の小学生や卒業生、父兄など全ての住民の心のよりどころを失うような感じで、心のケアが必要だと思いますので、地元への支援などサポートを充実して欲しいと思います。

#### (8)教育環境の充実

##### 【中学校管理事業】

- 校舎の老朽化により次々と修繕や工事が必要になり、財政的な負担もますます大きくなっていくのが心配です。また、近い将来には、修繕では対応できなくなると思いますので、総合的な施設整備計画や建設計画の策定を進めていただきたいと思います。

##### 【学校保健事業(小学校)(中学校)】

- 働き方改革を背景として、教職員の健康安全を管理することの必要性がより一層高まっている。ストレスチェックを受診し易くするなど、受診率を向上させるとともに、その結果を踏まえた教職員の健康安全管理をより徹底していくことが期待される。
- 教職員のストレスチェックの受診率が、小学校より中学校が23.9ポイント少ないのが心配です。部活動での指導や進学指導などで、特にストレスを受けやすい環境の中にいると思いますので、変化を早く見つけ対応するためにも、是非受診率を高めていただきたい。

##### 【教育振興事業(小学校)、(中学校)】

- 学習教材等の導入が遅れて、子ども達の学習機会が損なわれることのないよう、タイミングよく内容を充実していただきますようお願いします。

**【ICT推進事業(小学校)、(中学校)】**

- 頭の柔軟な子どもの頃からICTを活用した情報教育を受けることは、今の時代を生きていくうえで必要不可欠だと思います。コロナ禍では、長い休校中リモートで授業をしているのをテレビでよく見ましたが、都市と地方で整備の進捗に差が出ないよう、積極的に事業を拡大して対応くださるようお願いいたします。また、指導者や指導体制などソフト面でも充実するよう配慮をお願いいたします。



## V 点検・評価対象事業一覧

施策の区分	事業名	担当課	施策体系	頁
① 生涯学習の推進・充実	青少年健全育成事業	生涯学習課	基本方針 1 1	17
	芸術文化振興事業	生涯学習課	基本方針 1 6	18
	美術館運営事業	生涯学習課	基本方針 1 6	19
	公民館活動事業	生涯学習課	基本方針 5 3	20
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	基本方針 5 3	21
	公民館整備事業	生涯学習課	基本方針 5 3	22
	寒河江さくらんぼ大学推進事業	生涯学習課	基本方針 3 1	23
② 読書活動の推進・充実	読書の盛んな学校づくり事業	学校教育課	基本方針 1 5	24
	図書館管理運営事業	生涯学習課	基本方針 1 5	25
	図書資料等購入事業	生涯学習課	基本方針 1 5	26
	読書普及事業	生涯学習課	基本方針 1 5	27
③ 生涯スポーツの推進・充実	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	基本方針 3 2	28
	体育施設整備事業	スポーツ振興課	基本方針 3 2	29
	地域スポーツ活性化推進事業	スポーツ振興課	基本方針 3 2	30
④ 特色ある学校づくりの推進・充実	さがえっこ育み推進事業	学校教育課	基本方針 1 1-2-3 4-5	31
	特色ある学校づくり推進事業	学校教育課	基本方針 1 1-2-3 4-5 基本方針 2 5 基本方針 4 1-2	32
⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	教育研究推進事業・学力向上推進事業	学校教育課	基本方針 2 1	33
	理科教育センター運営事業	学校教育課	基本方針 2 2	34
	英語力育成事業	学校教育課	基本方針 2 3	35
	教育相談事業	学校教育課	基本方針 2 2	36
	学力向上支援員配置事業	学校教育課	基本方針 2 1-2	37
	障害児通学支援事業	学校教育課	基本方針 2 2	38

⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	さがえっ子ライブデザインセミナー事業	学校教育課	基本方針 2 5	39
	小中学校 I C T 活用支援事業	学校教育課	基本方針 2 3	40
	就学援助事業 (小学校)	学校教育課	基本方針 5 1	41
	就学援助事業 (中学校)	学校教育課	基本方針 5 1	42
	学校給食事業 (小学校)	学校教育課	基本方針 1 4	43
	学校給食事業 (中学校)	学校教育課	基本方針 1 4	44
⑥ 文化財の保存・活用の充 実	市史編纂事業	生涯学習課	基本方針 4 2	45
	文化財保存活用事業	生涯学習課	基本方針 4 2	46
	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	基本方針 4 2	47
	郷土館保存事業	生涯学習課	基本方針 4 2	48
⑦ 教育行政に対する関心・ 意識の高揚	教育委員会事務局管理事業	学校教育課	基本方針 5 4	49
⑧ 教育環境の充実	小学校管理事業	学校教育課	基本方針 5 2	50
	中学校管理事業	学校教育課	基本方針 5 2	51
	学校保健事業 (小学校)	学校教育課	基本方針 1 3	52
	学校保健事業 (中学校)	学校教育課	基本方針 1 3	53
	教育振興事業 (小学校)	学校教育課	基本方針 5 1	54
	教育振興事業 (中学校)	学校教育課	基本方針 5 1	55
	I C T 整備推進事業 (小学校)	学校教育課	基本方針 2 3	56
	I C T 整備推進事業 (中学校)	学校教育課	基本方針 2 3	57
	スクールバス運行事業	学校教育課	基本方針 2 1	58

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

事業名	青少年健全育成事業	所管課・係	生涯学習課
			生涯学習係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の確立	項	4 社会教育費
		目	7 青少年育成センター費

## 2. 事業の概要

事業目的	市青少年育成センターを中心に、関係団体と一体となって街頭指導や店舗等への巡回指導を実施し、青少年の健全育成を図る。
事業内容	(1)青少年教育関係諸団体と連携を図りながら、市青少年育成センターによる街頭指導や環境浄化活動等を行う。 (2)青少年育成推進員を委嘱し、地域における青少年の健全育成と非行防止を図るための活動を推進する。 (3)青少年が直面する課題の共有を図るため寒河江市青少年育成市民会議による「子ども・若者健全育成研修会」を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	534	補正額等		合計	534	決算額	505
30	当初予算額	651	補正額等		合計	651	決算額	580

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)市青少年育成センターにおいて、民生児童委員及び主任児童委員による年間18回の夕刻街頭指導及び青少年育成推進員による年間11回の夜間街頭指導を実施し、市内の商業ビル、JR駅、レンタルビデオ店、カラオケボックスなどを巡回した。</p> <p>(2)青少年育成推進員が、書店やコンビニエンスストアにおける有害図書調査、成人式会場での薬物禁止のチラシ配布等を実施した。</p> <p>(3)子ども・若者健全育成研修会では、「私とバレーボール」という演題で元全日本女子バレーボール選手の斎藤真由美氏を講師に、自身が受けたいじめをバレーボールを通して克服した体験について講演をいただき、青少年の健全育成に対する見識を深めた。</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)減少傾向と見られた寒河江警察署管内における青少年補導人数が微増となっており、内容や要因等の分析が必要である。 (参考:補導者数/20歳未満人口 H31 37/7,049人 H30 26/7,149人 H29 35/7,220人 H28 37/7,316人 H27 63/7,320人)</p> <p>(2)有害図書販売については減少しているが、ネット犯罪に巻き込まれる青少年被害が増えており、事業内容の検討が必要となっている。</p> <p>(3)東京五輪に向けた環境浄化対応としてコンビニエンスストアにおける成人向け雑誌の販売が自粛されており、夕刻街頭指導の在り方について検討が必要である。</p> <p>(4)斎藤真由美選手の「いじめ」をテーマにした講演会に約40名の参加者があり、問題解決や実践活動への決意を新たにした。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)市青少年育成センターを中心に、青少年教育関係諸団体との連携を図りながら市内の夜間街頭指導を継続する。また、来年度へ向け、夕刻指導の在り方について検討し、現状に合った活動への切り替えを検討する。</p> <p>(2)子ども・若者健全育成研修会を、「いじめ・非行をなくそう」をテーマに実施していく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系	1 豊かな心と健やかな体を育む 6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進 芸術文化に触れる機会の充実 芸術文化活動の充実と新たな地域文化の創造	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	市民の芸術文化に対する資質向上と、芸術文化に携わる取り組みの推進
事業内容	多くの市民が優れた芸術文化にふれるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	15,973	補正額等	130	合計	16,103	決算額	16,058
30	当初予算額	14,879	補正額等		合計	14,879	決算額	14,509

## 4. 事業の実施状況

(1) 市民文化会館自主事業の実施
①第8回悠久の里慈恩寺コンサート「日野皓正クインテット 夜空に響くトランペット」8月24日(土) 入場者600名 (H30 千住真理子「ヴァイオリン・リサイタル」600名)
②幼児演劇教室 劇団トマト座 ミュージカル「ピノッキオの冒険」10月18日(金) 入場者639名(幼稚園、保育所4歳以上) (H30 劇団エンゼル「ごんぎつね」 入場者666名)
③若者向け音楽イベント「SAGAE MUSIC DAY'19」11月23日(土) 入場者901名 (H30「SAGAE MUSIC DAY'18」865名)
④新春!爆笑ライブin寒河江 1月11日(土) 入場者517名 (H30 漫才のDENDO in 寒河江 936名)
(2) 実行委員会等市民文化団体への支援
①県美展寒河江移動展(同 実行委員会主催) 10月2日(水)~10月7日(月) 入場者591名 (H30 552名)
②第51回寒河江市総合文化祭(市芸術文化協議会主催) 10月13日(日)~12月8日(日) 11月3日(日)の入場者500名 (H30 500名)
③第22回寒河江市音楽祭「春を呼ぶコンサート」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (H30 920名)
(3) 山形交響楽団に対する支援(県内他自治体とともに山形交響楽協会へ負担金を交付して活動を支援)
(4) 舞台づくり支援事業(演劇や音楽などの振興を推進するため、地区内高校や社会教育関係団体を支援)
①演奏力等向上支援事業 高校2回 社会教育団体4回 (H30 高校3回 社会教育団体6回)
②発表会活動支援事業 高校2回 社会教育団体3回 (H30 高校2回 社会教育団体2回)

## 5. 事業の評価

(1)自主事業においては各年代層に合わせた事業を展開し、それぞれ高い集客率となっている。(慈恩寺コンサート100%、幼児演劇教室・音楽ライブ98%)
(2)2年目となる若者向け音楽イベント「SAGAE MUSIC DAY'19」は、昨年と同様非常に盛り上がり、市外県外からも多くの人が訪れた。また、満足度も89パーセントと高かった。
(3)8回目となる「慈恩寺コンサート」は、ジャズ・トランペッターの日野皓正氏を招聘し開催。天候にも恵まれ計画通り慈恩寺境内でのコンサートとなった。観客とセッションするなど、会場一体となった盛り上がりを見せた。慈恩寺本堂のライティング(照明効果)も評判がよく、慈恩寺の魅力を大いにPRすることができた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)自主事業については、アンケート等を通して市民の要望に合った事業を実施してきており、好評を得ている。引き続き市民の要望に添った、芸術文化を楽しんでもらえる自主事業を実施していく。 (2)「市総合文化祭」や「市音楽祭」等の各団体で実施する事業や、高校・社会教育団体の活動の支援についても引き続き行っていく。 (3)「SAGAE MUSIC DAY」は高い満足度・集客率となっており、一定の知名度は定着したと思われる。今後、チケット料金を少し値上げし、ラバーバンドをライブ記念として付けるなど、より内容を充実していきたい。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	美術館運営事業	生涯学習課
		文化センター事業管理係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予 算 科 目
教育振興計	6 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育む取組の推進 芸術文化に触れる機会の充実	款 10 教育費
		項 4 社会教育費
		目 3 芸術文化振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、美術館を通して中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。
事業内容	(1) 常設展示のほか、「市民ギャラリー」で特別企画展や企画展を実施するとともに、ワークショップなどの体験企画を実施する。 (2) 親しまれる美術館をめざして、施設整備を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	6,078	補正額等	合計	6,078	決算額	5,362
30	当初予算額	6,581	補正額等	合計	6,581	決算額	6,133

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 特別企画展として、社会福祉施設関係者やボランティアスタッフと実行委員会を組織し、「アートツリーやまがたvol.8」を実施した。</p> <p>① 内容は、社会福祉施設利用者や若手作家の作品展示、作者のミニトーク、体験企画等</p> <p>② 2月8日(土)～3月2日(月)に開催 来場者590名 (H30/「アートツリーやまがたvol.7」/2月3日(日)～2月25日(月) 来場者627名)</p> <p>(2) 主な企画展として、次の展示等を実施し、身近な芸術作品等にふれる場を提供した。</p> <p>① 鬼海弘雄写真展「PERSONA」/4月27日(土)～6月30日(日) 来場者2,626名</p> <p>② 若手作家・桶本理麗展/8月10日(土)～9月1日(日) 来場者379名</p> <p>③ 若手作家・八頭こぼり展/9月13日(金)～9月29日(日) 来場者378名</p> <p>④ 郷間正観書画作品展/10月10日(木)～10月22日(火) 来場者300名 (H30/郷間正観名誉館長作品展/10月17日(水)～10月23日(火) 来場者240名)</p> <p>⑤ 市総合文化祭(作品展示)/10月26日(土)～11月3日(日・祝) 来場者155名 (H30/10月27日(土)～11月3日(土・祝) 来場者224名)</p> <p>⑥ 慈恩寺絵画コンクール/11月14日(木)～11月29日(金) 来場者222名 (H30/11月14日(水)～11月28日(水) 来場者232名)</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1) 寒河江市出身・写真家の鬼海弘雄写真展は広報活動に力を入れ、県内外を問わず多くの来場者に鑑賞していただき、寒河江市美術館を周知することができた。</p> <p>(2) 今後も山形県で活動している若手作家等の発掘に努め、発表の場を提供し、体験企画や作家トーク等も取り入れ、寒河江市美術館の活性化を図った。</p> <p>(3) 「市民ギャラリー」を会場に、地元のレベルの高い美術品を展示する機会を提供するため、「寒河江市美術館企画展事業実施要綱」を制定した。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 出展者が実行委員会を組織して実施する特別企画展について、実施しやすい環境づくりに努める。</p> <p>(2) 寒河江市出身作家や山形県在住作家の企画展の充実に引き続き取り組む。</p> <p>(3) 「市民ギャラリー」を会場に実施する企画展について、広報活動にも一層力を入れることにより、市民や市出身者の作品発表の場、芸術活動の拠点として周知し、親しまれる美術館づくりを進めていく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	公民館活動事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 公民館費
教育振興計	3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進		

## 2. 事業の概要

事業目的	社会教育・生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や芸術文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動、公民館活動を推進する。
事業内容	(1)各地区公民館と分館、地域団体が連携しながら、自主的な学習活動や研修会等の地域づくり活動を支援していく。 (2)中央公民館では、歌を通して豊かな心を育む寒河江市少年少女合唱団の育成指導を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	4,257	補正額等		合計	4,257	決算額	3,950
30	当初予算額	4,234	補正額等		合計	4,234	決算額	4,011

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)生涯学習活動や地域活動の拠点として、豊かな人づくりのほか、地域に親しまれる公民館をめざし、各種事業を展開した。</p> <p>①分館活動／市内61分館の分館長・分館主事を中心に、各地域で特色ある分館活動を展開した。</p> <p>②生涯学習活動推進員／15名の推進員が、公民館事業の運営等に協力して取り組んだ。(H30/16名)</p> <p>③公民館活動に係る用具等整備／事業実施のために必要な消耗品及び備品等を各公民館に整えた。</p> <p>④学びのふるさと推進事業／地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化のため、事業共催を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域塾事業／分館と地区公民館が連携し実施する複数回の学習会等 (元町分館)</li> <li>・分館連携事業／分館と地区公民館が連携し地域活性化を図る活動 (西根南部分館、八楯分館、慈恩寺分館、新町分館)</li> <li>・社会教育団体との共催事業／全市的または地区を対象とした学習事業や生涯スポーツ振興事業 公民館大会 (2月11日(火・祝))、地区民レクリエーション大会や文化祭等</li> </ul> <p>⑤寒河江市少年少女合唱団の育成／小学生から高校生までの21名で構成。市内外の演奏会出演や施設訪問等を行った。(H30/20名)</p> <p>⑥運営審議会・運営会議の開催／公民館における事業内容や事業計画について意見を聞き、事業の企画実施に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館運営審議会／8名 年1回 (H30/8名/年1回) ・東部地区公民館運営会議／16名 年1回 (H30/16名/年1回)</li> <li>・南部地区公民館運営会議／10名 年2回 (H30/11名/年2回) ・柴橋地区公民館運営会議／13名 年1回 (H30/13名/年1回)</li> <li>・西部地区公民館運営会議／19名 年1回 (H30/20名/年1回)</li> </ul>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)各地区公民館と市内61分館で組織する寒河江市公民館連絡協議会が連携して研修会等を実施し、分館活動の活性化を図った。</p> <p>(2)中央公民館及び各地区公民館は、運営審議会又は運営会議で意見を聴き、各種団体と協力しながら地域の特色を生かした事業を実施した。</p> <p>(3)寒河江市少年少女合唱団は、市総合文化祭、県少年少女合唱祭、福祉施設訪問等で美しい歌声を披露した。今後も、市イベント等に積極的に参加し、活動の場を広げながら団員募集に取り組んでいく。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)各地区公民館は、地域コミュニティの活性化を図るため広報活動にも力を入れ、分館及び地域団体と連携しながら活力ある地域づくりをめざす。</p> <p>(2)中央公民館は、寒河江市少年少女合唱団の新規団員募集を図りながら、演奏やボランティア活動等の指導にあたりとともに、寒河江市公民館連絡協議会や寒河江市子ども会育成連合会等、全市的団体の活動を支援していく。</p> <p>(3)柴橋地区公民館については、柴橋地区コミュニティセンター事業と公民館事業を整理し、コミュニティセンター事業の運営を支援していく。</p>

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する		生涯学習係
教育振興計画	3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進 生涯学習活動を通じた地域コミュニティの活性化	予算科目	10 教育費
			4 社会教育費
			10 生涯学習推進費

## 2. 事業の概要

事業目的	放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。
事業内容	寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の全10小学校児童を対象に教室を開催。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	1,441	補正額等		合計	1,441	決算額	1,264
30	当初予算額	1,840	補正額等		合計	1,840	決算額	1,362

## 4. 事業の実施状況

<p>市内全10小学校児童を対象に、5教室を設け、各教室とも夏休みを中心に10日間開催した。</p> <p>【内容】夏休みおさらい学習などの学習活動やカヌー、グラウンド・ゴルフのスポーツ体験、七夕飾り作りやペットボトルロケットづくりなどの工作活動、川遊び体験、県内外の施設見学など、その他様々な活動を実施した。</p> <p>【参加人数等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター 5名(前年度比増減なし) 協働活動支援員・サポーター 45名(前年度比7名増)</li> <li>・参加者総数 301名(前年度比20名減)</li> <li>(参加者内訳) 寒河江小・西根小・三泉小120名(前年度比10名減) 寒河江中部小90名(前年度比8名増)</li> <li>南部小29名(前年度比5名減) 柴橋小31名(前年度比18名減) 高松小・醍醐小・白岩小・幸生小31名(前年度比5名増)</li> </ul>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)各教室において、事業内容に工夫をこらし、学年間の交流、地域の方々との交流が図られ、充実した教室を展開することができた。</p> <p>(2)各教室とも、指導員の後継者不足が心配されている。</p> <p>(3)放課後児童クラブとの連携や本教室の経験者(卒業生)が中学生になってから、ボランティアスタッフとして参加し、子ども達の面倒をみってくれるという好ましい流れは継続しており、今後も継続していく。</p> <p>(4)教室によっては、会場の都合上、参加希望者の全てを受け入れられない状況にある。拡充したくても、本事業実施に適した会場がないことが課題となっている。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)子ども達の社会性を高めるため、地域の大人との触れ合いや自然体験の機会を盛り込み、放課後児童クラブとも連携しながら事業を行っていく。</p> <p>(2)指導員の後継者の確保に努め、教室の運営体制の充実を図っていく。</p> <p>(3)本事業を通して、子ども達の地域活動への参加が促進される流れをつくっていく。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	公民館整備事業	所管課・係	生涯学習課
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	生涯学習係	
教育振興計画	3 地域の教育力の向上と地域コミュニティの活性化 地域の特色を生かした公民館活動の推進	予算科目	10 教育費
			4 社会教育費
			1 社会教育総務費

## 2. 事業の概要

事業目的	地域のコミュニティの核である地区公民館分館の整備を支援し、機能充実を図ることで更なる地域力の向上を目指す。
事業内容	(1)分館の新築・増改築、駐車場舗装及び耐震改修等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。 (2)平成28年度から新たに修繕及び設備の整備(エアコン設置・照明のLED化)を、補助の対象としている。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	3,547	補正額等		合計	3,547	決算額	3,413
30	当初予算額	14,937	補正額等		合計	14,937	決算額	14,246

## 4. 事業の実施状況

(1) 雲河原分館屋根葺替板金工事	事業費	1,100,000円	面積等	203.5㎡	完成年月日	令和元年 6月27日	補助金額	880,000円
(2) 中郷分館エアコン設置工事	事業費	3,002,400円	面積等	4台	完成年月日	令和元年 6月7日	補助金額	620,000円
(3) 上河原分館改修工事(屋根塗装、便器洋式化)	事業費	2,012,200円	面積等	331㎡、2箇所	完成年月日	令和元年 6月29日	補助金額	1,342,000円
(4) 下河原分館照明LED化工事	事業費	1,021,680円	面積等	69カ所	完成年月日	令和元年 8月10日	補助金額	340,000円
(5) 元町分館エアコン設置工事	事業費	693,360円	面積等	1台	完成年月日	令和元年 8月3日	補助金額	231,000円

(平成30年度整備件数 12分館(13工事) 事業費 14,246千円)

## 5. 事業の評価

5分館において整備が図られ、地域活動の活性化に繋がった。 耐震強度不足の分館の内、令和2年度に道生分館が補強工事実施、楯分館が改築の予定である。これにより、耐震補強未対応分館は4分館(本楯・陣ヶ峯・元町・宝)となり、各分館において対応が検討されている。
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)各分館に対して、分館の整備に係る意向調査を行い、事業を進めていく。 (2)分館の耐震化について、地域における拠点施設として安心安全を確保するため、引き続き推進していく。 (3)令和2年度からエアコンの補助率見直し(100戸以上1/3→1/2)、バリアフリー用備品(座椅子)の購入補助について拡充しており、広く周知し分館の整備を進めていく。(R2予算27,517千円)



# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

事業名	寒河江さくらんぼ大学推進事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 公民館費
教育振興計画	1 自らを高める生涯学習の充実と環境づくりの推進 生涯を通じた学習機会の充実 共に学び合う体制づくり		

## 2. 事業の概要

事業目的	生涯学習と交流の場として、中央・地区公民館をつないだ、誰もが自己実現のため生き生きと学び、学びを通して触れ合いで人とひとがつながり、学びの成果が地域で輝き、まちを育てるための「市民大学」を開設する。
事業内容	(1)中央公民館と4つの地区公民館をキャンパスとした、市民講座を実施する。 (2)講師は著名人や地域で活躍する方などを、幅広く選定する。 (3)講座の実施にあたっては、受講生による運営委員が主になり、自主的運営を進めていく。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	3,001	補正額等		合計	3,001	決算額	2,423
30	当初予算額	2,207	補正額等		合計	2,207	決算額	1,995

## 4. 事業の実施状況

中央公民館と4地区公民館の5キャンパス 6学部1大学院 受講生延べ228名 開講式・公開講座／7月6日(土)ハートフルセンター多目的ホール 作家・評論家 川本三郎氏『『男はつらいよ』を旅する』受講生198名 (H30/6学部1大学院 受講生延べ249名 開講式・公開講座／7月7日(土)中公ホール さとみの漬物講座企業組合理事長 新聞さとみ氏「食の知恵と美味しさを求めて」受講生121名)

・キャンパス及び学部構成

(1) 中央キャンパス(中央公民館)

①大学院「慈恩寺の歴史専攻科」／慈恩寺と寒河江西村山・大江氏の歴史講義、慈恩寺旧境内の探索、最終回で研究発表会を実施 7月26日(金)～10月18日(金)4回 受講生延べ44名 (H30 受講生延べ48名)

②生き生き元気学部／60歳以上向け ラフターヨガ、音楽講座、筆・筆ペン実技講座、藤沢周平の故郷を訪ねる現地研修を実施 7月24日(水)～11月8日(金)4回 受講生延べ151名 (H30 受講生延べ191名)

③歴史学部／～川から学ぶ寒河江の歴史～最上川と石器・文化についての講話、最上川船着き場、間沢金山等の現地研修を実施 9月4日(水)～11月27日(水)4回 受講生延べ226名 (H30 受講生延べ260名)

(2) 東部キャンパス(東部地区公民館)

①アクション攻学部／イタリア石窯で焼く本格ピザ作り、紅葉を愛でる月山尾根渡り、地方創生講座、和太鼓の披露・体験を実施 9月8日(日)～11月29日(金)4回 受講生延べ103名 (H30アクション攻学部／受講生延べ109名)

(3) 南部キャンパス(南部地区公民館)

①ワッショイやまがた創造学部／映像に見る山形史、山形の観光最前線講座、山形こけし絵付け、トリオ・アラモーレの生演奏を実施 8月10日(土)～11月23日(土・祝)4回 受講生延べ118名 (H30 第二の人生設計学部／受講生延べ202名)

(4) 柴橋キャンパス(柴橋地区公民館)

①ふるさと匠の技学部／伝統芸能獅子頭・伝統技術組子家具の講話、組子コースター作り、アケビのつるでマイプレート作りを実施 7月28日(日)～10月19日(土)4回 受講生延べ121名 (H30ふるさと匠の技学部／受講生延べ115名)

(5) 西部キャンパス(西部地区公民館)

①地域発見学部／佐藤繊維(株)工場見学とランチ、地域教養(白岩の絵馬)講座、豆腐作り体験、慈恩寺蓮細工体験を実施 8月3日(土)～12月7日(土)4回 受講生延べ102名 (H30 受講生延べ100名)

## 5. 事業の評価

(1)「学びで築く ひと・まち・未来」を全体方針として、各公民館をキャンパスに、6学部1大学院で市民講座(6年目)を実施した。
(2)より知名度のある講師を招聘して「公開講座」を実施し、「寒河江さくらんぼ大学」の認知度向上を図った。
(3)キャンパス・カフェ等で受講生相互の交流を深めたほか、講座の実施にあたっては運営委員を中心に自主的運営を推進した。
(4)講座終了後の運営委員会で次年度の学部構成や講座内容について検討し、地域住民のニーズを企画・運営に取り込んだ。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)今後も、慈恩寺について高度に専門的に学ぶ「大学院」を継続して開設する。 (2)若者から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした魅力ある学部や講座内容で、仲間づくりの輪を広げる。 (3)今後も、より知名度のある講師を招聘して「公開講座」を実施し、新規受講生の参加を図る。 (4)運営委員会を中心に「自分たちがつくる講座」をめざして、自主的運営を一層推進する。

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

事業名	読書の盛んな学校づくり事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計	5 心を育む読書活動の推進	項	1 教育総務費
	本が好きな子どもの育成	目	3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	読書の盛んな学校づくりの推進を図り、読書好きな子どもを育成する。
事業内容	(1) 読書活動推進員を学校に配置し、学校における読書環境の整備を行うとともに、読み聞かせやブックトーク等の実践により国語科の授業を充実させる。 (2) 「図書館管理システム」を有効に活用することにより、児童生徒の読書環境の充実を図る。 (3) 読書活動推進会議を開催し、読書活動推進員並びに市立図書館との連携を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	5,696	補正額等		合計	5,696	決算額	5,359
30	当初予算額	5,652	補正額等		合計	5,652	決算額	5,440

## 4. 事業の実施状況

(1) 読書活動推進員の配置	① 配置人数 5名 ② 配置校 寒河江小・西根小 寒河江中部小・三泉小 南部小・柴橋小・陵南中 醍醐小・高松小・陵東中 白岩小・幸生小・陵西中 ③ 業務内容 児童生徒への読書指導及び図書選定の助言、図書室の整備、学習支援 その他児童生徒の読書活動推進のための業務(読み聞かせ、ブックトーク、ピブリアバトル、読書推進講座) ④ 勤務体制 年間200日程度、各小学校に曜日ごとに2~3日の勤務、中学校は、週1日の勤務
(2) 読書環境の整備	① 図書館管理システムのサポート業務の委託 除籍・廃棄作業
(3) 平成31年度 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙における「読書時間」(1日30分以上)の回答状況 ※()は平成30年度	小: 市40.1(43.4)% 国39.8(41.1)% → 前年比-3.3%(全国比0.3%) 中: 市27.2(26.9)% 国27.0(30.9)% → 前年比 0.3%(全国比0.2%)
(4) 読書活動推進会議の開催(6月、2月:市立図書館)	

## 5. 事業の評価

(1) 中学校への派遣を週1日と固定したことで、中学校の図書室の環境整備、図書館の開放など、改善が図られた。しかし、その一方、小学校への派遣回数が減り、これまで積み重ねてきた活動を縮小せざるをえない状況も見られた。
(2) 読書活動推進会議の開催により、市内各小・中学校の読書活動の成果と課題を共有したり、市立図書館との連携を図ることができた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 読書活動推進会議を開催し、市内各小・中学校の読書活動への取り組みを共有していく。読書活動推進員と市立図書館との連携を図り、市全体として読書活動の推進を図る。 (2) 読書に対する興味・関心や読書時間、図書館利用頻度に、児童生徒の生活習慣がどのように起因しているのか、課題を多面的・多角的に捉えられるよう協議を重ねていく。 (3) 令和3年度に、幸生小学校が白岩小学校に統合されることを見通し、読書活動推進員の配置を検討する。 (R2予算 7,417千円)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	図書館管理運営事業	所管課・係	生涯学習課 図書館：業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援	項	4 社会教育費
		目	5 図書館費

## 2. 事業の概要

事業目的	図書館の機能充実と良好な環境の維持を図るため、施設の保守管理や修繕等を行い、利用者の利便性の向上を図る。
事業内容	(1) 図書館機能の充実と施設の適切な維持管理を行うため、空調機器保守点検、清掃や機械警備を業務委託する。 (2) 経年劣化に伴う施設設備の整備、修繕を計画的に行う。 (3) 更なる読書環境の充実のため、市民のニーズに的確に対応する管理運営を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	24,633	補正額等	△ 11	合計	24,622	決算額	23,223
30	当初予算額	23,007	補正額等	2,703	合計	25,710	決算額	25,395

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 保守点検、管理運営業務等</p> <p>① 設備管理業務、機械警備業務、清掃業務、冷暖房設備保守、自動ドア保守、エレベーター保守、コンピューター保守 外 業務委託</p> <p>② 図書館情報システム賃借、駐車場賃借、館内BGM 外</p> <p>(2) 工事、修繕等</p> <p>開架室ロールカーテンや消火ポンプ等の修繕のほか、水回り・玄関タイル等の補修、照明安定器不具合箇所等交換を行った。安全確保のため正面玄関自動ドア(2基)の取り換え工事や、駐車場看板等の整備を迅速に行った。</p> <p>(3) 利用状況</p> <p>① 入館者数 107,802人(1,847人減) ② 貸出者数37,972人(1,022人増)</p> <p>③ 貸出登録者数 13,380人(899人増) ④ 貸出冊数152,552冊(10,709冊増) ⑤ 開館日数 330日(1日増)</p> <p>⑥ カフェコーナーの利用状況(コーヒー自販機販売量/月平均) 348杯(月平均 45杯増)</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1) 図書館施設設備の整備や、冷暖房設備の点検、フィルター清掃等を計画的に行い、利用しやすく快適な読書環境を提供した。</p> <p>(2) 消防設備(消火ポンプ)修繕、正面玄関の自動ドア取り換え工事等により、施設の安全性維持を図った。</p> <p>※ 読書や学習に適した環境を提供したことにより、60歳以上の長時間・継続的な利用者が増え、貸出者数・貸出冊数の増加に繋がった。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 図書館施設の適切な管理運営に努め、利用者サービスの向上を図り、安全で快適な環境の維持を行う。</p> <p>(2) 多様な館内利用に対応し、支援を必要とする方や、中学・高校生の入館者、貸出者、貸出冊数の増加を図る。</p> <p>(3) 設置後三年目となる「カフェコーナー」に、さらに軽食可能なスペースを設けたり、館内のWi-Fi環境を整備するなど、利用者の多様なニーズに応えていく。</p> <p>(4) 生涯学習の拠点施設として、誰もがいつでも快適に利用できる図書館づくりを進める。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	図書資料等購入事業	所管課・係	生涯学習課 図書館:業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援	項	4 社会教育費
		目	5 図書館費

## 2. 事業の概要

事業目的	公立図書館に備えておくべき蔵書の整備を基本とし、図書資料等の充実を図る。
事業内容	(1) 一般図書、児童図書、視聴覚資料(DVD等)、雑誌等について、「図書館資料選定要領」に基づき、計画的に購入する。 (2) 図書館の特色や、利用者のニーズに対応しながら、蔵書の整備を進める。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	9,175	補正額等	11	合計	9,186	決算額	9,182
30	当初予算額	9,239	補正額等	△ 142	合計	9,097	決算額	9,082

## 4. 事業の実施状況

(1)図書館蔵書状況(令和2年3月末)			
① 一般書	104,369冊	(前年度比 1,901冊増)	「購入冊数 2,923冊」
② 児童書	31,046冊	(前年度比 613冊増)	「購入冊数 1,090冊」
③ 視聴覚資料(音響・映像)	2,705点	(前年度比 25点増)	「購入点数 23点」
④ 雑誌等	2,746冊	(前年度比 4冊減)	「購入冊数 889冊」

## 5. 事業の評価

(1) 乳幼児期からの読書習慣を醸成するため、ブックスタート絵本の継続購入や、児童書、おはなし会用の大型絵本、紙芝居等の蔵書充実を図った。
(2) 図書館に備えておくべき図書資料等を基本とし、ニーズの高い新刊図書資料の購入や要望に応えるとともに、県内外の図書館との相互貸借に努め、より魅力的な蔵書提供を推進した。
(3) 市内小中学校の担当教諭、読書活動推進員、ALT、AETと連携して、学習や読書活動に必要な図書資料を購入し、各学校での教科学習や特別活動で活用していただいた。(外国語図書は、ALTが「外国語」で活用)
※上記の取組み等により、乳幼児の利用増と親世代や60歳以上の利用増、小中学生の利用微増につながった。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 各世代の利用者ニーズを的確に把握し、図書資料を継続的に購入していく。 (2) 点字図書、視覚・聴覚障がい者用CD、LLブック等の障がい者向けコーナーの設置、バイリンガル図書、英訳図書等の充実を図り、多様なニーズに対応していく。 (3) 小中学生の学習に資する図書資料を整備するとともに団体貸出を図り、児童・生徒の利用拡大を目指す。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	読書普及事業	所管課・係	生涯学習課 図書館・業務係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 心を育む読書活動の推進 本が好きな子どもの育成 自主的な読書活動の支援	項	4 社会教育費
		目	5 図書館費

## 2. 事業の概要

事業目的	読書への興味と関心を促すため、読書機会の提供と啓発に努め、魅力ある図書館づくりを進める。
事業内容	読書推進団体との連携を深め、図書館自主事業や図書推薦コーナー等を継続的に実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	2,640	補正額等		合計	2,640	決算額	2,492
30	当初予算額	2,698	補正額等	△ 441	合計	2,257	決算額	2,033

## 4. 事業の実施状況

(1) 定例事業
① 図書館ボランティアグループによる「おはなし会」の開催(4団体・約120回 前年度比増減なし)
② 子どもに読ませたい本のコーナーの設置(通年)
③ 「ブックテーマコーナー」「ミニブックテーマコーナー」の設置(通年)
④ 「最新新刊書コーナー」「ティーンズコーナー」の充実
⑤ 新入生及び未登録児童の一斉登録事業の実施(177名 前年度比5名減)
⑥ 市子育て推進課、健康福祉課及びブックスタートサポーターとの連携で「ブックスタート事業」実施(12回 前年度比増減なし)
⑦ 3ヵ月児健診時と子育て支援施設への出張による「絵本の部屋」開催(24回 前年度比増減なし)
⑧ 展示ホールを活用した多様な展示会等を開催(出展件数16件 前年度比1件増)
(2) 図書館自主事業
① 「さくらんぼの都市さがえ全国俳句大会」の開催 6月28日 文化センター 約200名参加 前年度同様
② 読書講演会「室井滋・長谷川義史の絵本ライブ」の開催(7月15日 ハートフルセンター 288名参加 前年度比160名増)
③ 「さがえ図書館まつり2019 夏まつり」の開催(8月4日 図書館 386名参加 前年度比64名増)
④ 「シリーズ山形の文学を探る」の開催(9月・10月の2回 図書館、現地視察 延べ70名参加 前年度比38名減)
⑤ 「くすくす人形劇公演」の開催(10月30日 図書館 市内幼稚園・保育所ほか対象 368名参加 前年度比28名減)
⑥ 「さがえ図書館まつり2019 冬まつり」の開催(12月8日 図書館 369名参加 前年度比11名減)
⑦ 東北芸術工科大学とのコラボレーション企画(「文芸レビュー」の発刊と、上記冬まつりでの「ビブリオバトル」一般の部の実施)
⑧ 安孫子荻聲ギャラリー常設展示

## 5. 事業の評価

(1) 図書館自主事業の内容を改善(読書講演会の充実や「ビブリオバトル」小学生の部の新設等)し、読書の普及拡大を図った。
(2) 乳幼児期からの親子読書の推進を目的とした「ブックスタート事業」をきっかけに、図書館ボランティアによる「おはなし会」への親子参加者が増加した。
※上記の取組みにより、乳幼児の利用増をはじめ、幅広い年代で利用者が増加した。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) 例年以上の規模と内容で実施し大好評を博した読書講演会「絵本ライブ」を、今後も当図書館の目玉事業として継続し、子どもから大人まで幅広い層を取り込んだ読書機会の提供を図る。 (2) 「シリーズ山形の文学を探る」について内容を検討し、次年度は東北芸術工科大学の協力を得ながら、高校生や若い層が参加する講座とするよう企画する。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ振興事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、いきいきと学び続ける取組を推進する。	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進		5 保健体育費
	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進 スポーツを通じた地域活性化の推進		1 保健体育総務費

## 2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。
事業内容	(1)年間を通じた体育施設の利用促進による多様なスポーツの振興を図るため、指定管理者や各スポーツ団体との連携と支援を進める。 (2)ライフステージに応じた生涯スポーツの振興を図るため、各種大会・教室等を開催する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	5,312	補正額等		合計	5,312	決算額	5,159
30	当初予算額	5,046	補正額等	434	合計	5,480	決算額	5,455

## 4. 事業の実施状況

市スポーツ推進委員との連携、(一社)寒河江市体育協会への事業委託等により、多彩なスポーツ教室や講座等を開催し、多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供した。また各種スポーツ大会の開催や競技力向上に係る支援等を行った。

(1)生涯スポーツ推進事業

①市スポーツレクリエーション祭(1回 586名)(H30: 471名/H29: 508名)      ②市民スキー教室(1回 114名)(H30: 87名/H29: 97名)

③ちびっこスポーツ教室(20回 503名)(H30 477名 / H29: 10回 265名)

④ジュニアスポーツ教室(20回 366名)(H30 379名 / H29: 10回 223名)

⑤成人スポーツ講座(ゴルフ教室: 20回 353名) ※別メニュー (H30:8回 42名/H29:8回 65名)

(2)ニュースポーツ出前事業(教室) (6回 7種目 390名) (H30: 5回 5種目 347名 / H29: 6回 6種目 378名)

(3)スポーツ少年団育成事業(指導者,育成母集団研修会: 1回 69名) (H30: 50名 / H29: 70名)

(4)市体育協会育成事業 (表彰・激励事業、スポーツ講演会事業、モンテディオ山形支援事業、スポーツ少年団活動等支援事業他)

(5)さくらんぼマラソン大会事業 →H31～地域スポーツ活性化推進事業に整理し掲載

## 5. 事業の評価

(1)生涯スポーツ推進事業等については(一社)寒河江市体育協会が、ニュースポーツ出前教室等については寒河江市スポーツ推進委員会が主に担当し、それぞれの組織の持ち味を活かした活動を継続実施した。

(2)市民がスポーツに親しむ機会を数多く提供してきたことで、スポーツ習慣の定着とスポーツ人口の拡大が図られている。

(3)各種スポーツ大会等の開催を通じ、競技力の向上と指導者等の育成が図られている。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) (一社)寒河江市体育協会ほか関係組織との連携を深め、市民が気軽にスポーツに親しむことができる事業を中心に、地域における生涯スポーツを推進する。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	体育施設整備事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進		5 保健体育費
	スポーツ環境の整備と充実		1 保健体育総務費

## 2. 事業の概要

事業目的	安全、快適で利用しやすい体育施設の整備を図る。
事業内容	(1)市民体育館等の利用環境を適正に維持するため、施設の改修等を計画的に行う。 (2)多くの機器等が連動している市民プールを適正に運営するために、必要な改修等を継続的に行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	500	補正額等	5,166	合計	5,666	決算額	4,807
30	当初予算額	5,719	補正額等	△ 434	合計	5,285	決算額	5,228

## 4. 事業の実施状況

(1) 体育施設整備について、次の修繕等を実施した。	
① 市民プール給水ポンプ緊急取替修繕	1,965,600 円
② 市民体育館(アリーナ)折畳式バスケット装置備品購入	2,351,800 円
③ 市民体育館2階(男子)トイレ小便器取替修繕	154,000 円
④ 市民体育館剣道場埋込照明器具吊り直し修繕	200,200 円
⑤ 市民体育館2階ミーティングルーム内装(床)修繕	135,300 円

## 5. 事業の評価

(1)市民体育館等の適正な管理運営のため、施設の修繕等を迅速かつ計画的に行ったことにより、安全・快適に利用された。 (2)市民プールの運営に不可欠な修繕等を行ったことにより、快適に利用され日本水泳連盟公認の大会等が継続開催された。
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	体育施設の良好な利用環境を維持するため、施設の通常管理を適正に行うとともに計画的整備を進めていく。更に、市全体の個別施設(維持管理)計画に沿いながら、小規模改修等については独自計画による効率的整備に努める。

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

事業名	地域スポーツ活性化推進事業	所管課・係	スポーツ振興課 スポーツ振興係
施策体系	【基本方針3】 生涯にわたって、生き生きと学び続ける取組を推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 生涯にわたってスポーツに親しむ取組の推進		5 保健体育費
	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進 競技力向上の推進 スポーツを通じた地域活性化の推進		1 保健体育総務費

## 2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。
事業内容	(1)スポーツツーリズム関連事業として、さくらんぼマラソン大会、トライアスロン大会等を開催し、交流人口の拡大と地域活性化に繋げる。 (2)スポーツ競技力向上に係る支援事業として、全国大会等出場者への激励事業等を行う。 (3)東京2020を契機とし、市民のスポーツ実施率の向上と障がい者スポーツの振興等に繋げる。(ツーリズム関連事業)

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	21,661	補正額等	800	合計	22,461	決算額	21,954
30	当初予算額	16,883	補正額等		合計	16,883	決算額	14,354

## 4. 事業の実施状況

<p>東京2020(オリ・パラ)を契機とした各種事業を市民のスポーツ実施率の向上等に繋げ、スポーツツーリズムと関連付けた各種大会等を開催することによる交流拡大(障がい者スポーツ・オリパラ関連を含む)と地域活性化を図った。 また、全国大会等出場者への激励事業を実施し、更なる競技力向上と指導者育成に向けた事業を継続実施した。</p> <p>(1)さくらんぼマラソン大会負担金 12,800千円 (H30: 10,000千円) ◎(参加者 2,819名) (H30: 2,692名 / H29: 2,242名) (2)トライアスロン大会負担金 1,500千円 (H30: 1,000千円) ◎(参加者 157名) (H30: 69名) (3)オリ・パラPR(障がい者スポーツ含む)交流等事業負担金 3,000千円 (H30は、パラリンピアン交流事業等として一部実施) (全てツーリズム開催事業: ツールドさくらんぼ、ストライダーエンジョイカップ、スポーツフェスティバル(オリパラ応援プログラム)他) (4)全国大会等出場激励金 (53件) 610千円 (H30: 52件/ 315千円) (5)スポーツ講演会(体育協会表彰事業関連) 200名 (H30: 120名)</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)スポーツツーリズムとした各種スポーツイベントの開催により、交流拡大と地域活性化が図られた。また、東京2020応援プログラム「スポーツフェスティバル」には2日間で約700人の市民が参加し、東京2020大会の競技種目を体験するなど理解を深めた。 (2)競技力向上に関連する取組が、全国大会等の上位大会出場者等の励みとなっており、多彩な競技種目の出場に拡大している。 (3)継続的な「障がい者スポーツ振興関連事業」により、障がい者や障がい者スポーツへの理解や交流に繋がった。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)2020東京(オリ・パラ)の開催を契機とし市民のスポーツ実施率の向上に繋げるため、国県等と連携した聖火リレーほか関連事業を地域特性を活かし実施する。また、スポーツツーリズムによる交流拡大と地域活性化を促進するため、大規模イベント「さくらんぼマラソン大会」やグリバーさがえの環境を活かした「トライアスロン大会」等、各種事業の検証を充分に行いながら、事業内容を更に高めていく。(令和2年度予算 39,518千円) なお、新型コロナウイルス感染症による東京2020大会の延期に伴う関連事業の見直し等についても、適切に対応していく。</p>



# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	さがえっこ育み推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係									
施策体系	<p>【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む</p> <p>1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の醸成</p> <p>2 命や生き方を大切にする教育の推進 学校・家庭・地域が連携したいのちと生き方を考える教育の推進</p> <p>3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成</p> <p>4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進</p> <p>5 心を育む読書活動の推進 自主的な読書活動の支援</p>	予算科目	<table border="1"> <tr> <td>款</td> <td>10</td> <td>教育費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>1</td> <td>教育総務費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>3</td> <td>教育指導援助費</td> </tr> </table>	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導援助費
款	10	教育費										
項	1	教育総務費										
目	3	教育指導援助費										

## 2. 事業の概要

事業目的	子どもたちを育むための指針「さがえっこの育み10か条」を核とし、学校・家庭・地域が連携しながら広くその取り組みを推進し、未来を担う子ども達を健やかに育む。
事業内容	さがえっこ育み推進本部を設置し、事業の周知啓発を行う。また、各小学校区に学校支援地域本部を設置し、地域で学校を支援する仕組みづくりを行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	6,792	補正額等		合計	6,792	決算額	5,305
30	当初予算額	5,259	補正額等		合計	5,259	決算額	4,672

## 4. 事業の実施状況

(1) 推進本部の設置	<p>① 教育長を本部長とし、学校、幼稚園・保育所、保護者、地域の代表、関係各課長等を構成員とする会議を年2回開催し、事業の推進方策等を検討</p> <p>② 平成23年度に制定した指針「さがえっこの育み10か条」について、年度始めにリーフレットを6,000部作成し、幼稚園・保育所、小中学校の保護者・教職員、に配布。加えて、のぼり旗26セットを作成し、学校、市役所等で掲示</p> <p>③ ポスター100枚を作成し、幼稚園・保育所、小中学校、公民館等に配布・掲示</p> <p>④ 「さがえっこの育み10か条」について、PTA総会時に話をしたり、各公民館に掲示したりするなどの啓発活動を実施</p> <p>⑤ 「さがえっこ育みフォーラム」の企画と開催 「ライフデザインセミナー」と合同で開催した。 大家族「石田さんチ」の父、石田晃氏の講演「ライフデザインと共に考える さがえっこの向き合い方」により、子どもに向き合う際の考え方について向き合う機会となった。</p>
(2) 学校支援地域本部事業	<p>① 各小中学校に学校支援地域本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進 ※学校支援ボランティアの総数 2,492人 (H30 2,977人)</p> <p>② 部活動指導員を2名、3つの中学校へ配置し、部活動中の生徒の安全確保とともに、アドバイスによる技術向上につなげた。</p>

## 5. 事業の評価

(1) 「さがえっこの育み10か条」の普及	<p>小中学校では、学校の実態に合わせ、それぞれ、「さがえっこの育み10か条」に関わる取り組みを展開した。リーフレットやポスターを公共機関に配布し、掲示することで、「さがえっこの育み10か条」が多くの人の目に触れ、浸透してきている。また各校における取組について状況を把握し、次年度以降の活動に生かせるよう情報共有を行った。</p>
(2) 学校支援地域本部事業について	<p>もすべての小中学校に「学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティア活動を展開した。学校支援ボランティアとしてかかわる地域住民や保護者の協力の下、各学校の教育活動の充実につながった。</p>

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 令和2年度は”のぼり旗”を、各幼稚園、保育所、保育園等に配付し、保護者の認知度を高めていく。</p> <p>(2) コミュニティスクールの推進のため、5校に地域コーディネーターを配置し、学校運営協議会を中心とした地域学校共同活動を推進していく。</p> <p>(3) 部活動指導員を3名に増やし、時間増を含め、各校の実態に応じた対応ができるようにしていく。 (R2予算 7,751千円)</p>

# 事務事業点検・評価調査書

## 1. 事業名等

事業名	特色ある学校づくり推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	<p>【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む</p> <p>1 思いやりの心や規範意識の醸成 多様な体験と規範意識の醸成 基本的な生活習慣の醸成</p> <p>2 命や生き方を大切にす教育の推進 学校・家庭・地域が連携した命と生き方を考える教育の推進</p> <p>3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成</p> <p>4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進</p> <p>5 心を育む読書活動の推進 自主的な読書活動の支援</p> <p>【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む</p> <p>5 キャリア教育の充実 社会的・職業的自立に向けた教育の推進</p> <p>【基本方針4】 ふるさとの誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進</p> <p>1 ふるさとへの愛情と誇りを育む教育の推進 地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動の推進</p> <p>2 郷土の歴史と文化を大切にする活動の推進 民俗芸能や伝統行事の保護と伝承</p>	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
		教育振興計画	

## 2. 事業の概要

事業目的	児童生徒がふるさとを知り、学び、体験し、郷土を愛する心を育む教育活動並びにふるさとの未来を担う児童生徒に豊かな心や健やかな体を育む教育活動を支援するため
事業内容	子どもたちの学力や体力・道徳心の向上、基本的な生活習慣の確立など、学校が家庭や地域と連携して取り組む活動や、地域の実態に応じた特色ある教育活動を支援する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	4,200	補正額等		合計	4,200	決算額	3,460
30	当初予算額	3,050	補正額等	1,290	合計	4,340	決算額	4,290

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)各学校では、第2次教育振興計画の基本目標に迫るため本事業を活用し、家庭や地域と連携した取組を展開している。 豊かな心と健やかな体づくりの学習・・・食育推進活動や子どもの生活リズムの確立を図る活動、読書の盛んな学校づくり活動など ふるさとに関わる学習・・・慈恩寺の歴史にまつわる学習、太鼓や田植え踊り、大黒舞などの伝統芸能・文化を生かした学習など</p> <p>(2)ベンチャーマインド事業として、地域の企業の方からお話を聞くなどし、起業家精神を養う活動を行った。</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)各学校では、趣旨に基づいて本事業を有効に活用し、学校における特色ある教育活動や体験的な活動を計画し展開している。</p> <p>(2)予算については、適正かつ有効な配分になるように、学校規模や児童生徒数だけでなく、提出された事業計画を十分に精査し、事業の重要度や必要性等を考慮しながら配当を行っている。 →各学校ごと教育効果が上がるような活動を考え、主体的に工夫を凝らした活動を展開できた。</p> <p>(3)ベンチャーマインド事業については、児童が新たな視点を得るよい機会となった。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各学校において、特色ある活動を実施するうえでなくてはならない事業になっている。 今後も、「ふるさとに関する学習」や「豊かな心と健やかな体づくり」に関し、より学校独自の活動が展開できるようにしていく。また、ベンチャーマインドの活動についても継続し、児童の主体的な活動を増やせるようにしていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育研究推進事業・学力向上推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 主体的な活動ができる力の育成	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費 4 教育研究所費

## 2. 事業の概要

事業目的	教職員の資質を向上させるとともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。
事業内容	(1)教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。 (2)学力検査や知能検査、学級集団状態調査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	8,533	補正額等	0	合計	8,533	決算額	7,846
30	当初予算額	8,223	補正額等	150	合計	8,373	決算額	7,622

## 4. 事業の実施状況

(1) 学力検査・知能検査・学級集団実態調査
①小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学:全学年、理科:小4以上、社会:小6以上、英語:中2以上)
②小2、4、6、中1における知能検査の実施
③中1～中3における学級集団実態調査の実施(年1回)
④小4、中1における全国学力調査業者テスト(標準学力調査)の実施
(2) 教育研究所
①研修部 21部会(陵東・陵南学区各7部会、陵西学区3部会、養護教諭部会、学校事務部会、学校栄養職員部会)各2回
②研修会 ○全体研修会(8月1日) 目白大学人間学部心理カウンセリング学科 教授 黒沢 幸子氏 子どもたちの笑顔が増え 教室の空気が柔らかくなる「解決志向の学級づくり」について
③学力向上対策委員会 ○学力対策委員会の開催(9月・1月) ○市内各小・中学校の学力向上に向けたアクションプランの作成と情報共有 ○アクションプランの振り返り、資質・能力の育成を目指したアクションプランの説明(村山教育事務所:鈴木 貴子指導主事)
④課題研究部会 ○各校の英語教育の現状と課題について、中学校3年生時に目指す子どもの姿の共有 (全国学力学習状況調査「英語」のスピーキング問題の体験 ○外国語活動の授業研究(南部小第5学年:高橋 幸奈教諭)
⑤公開授業研究会 ○中学校区ごと1校ずつ公開を行った。(陵東中、柴橋小、白岩小)

## 5. 事業の評価

(1) 研修部会 陵東学区:「小中連携による9年間の学びづくり」のテーマのもと、部会ごとにテーマを設け、成果と課題を共有した。 陵南学区:市教育研究所陵南中学区研修部会と陵南学区小中教育懇談会の統合。「つきたい力」を明確にした小中連携の取り組みを実践した。 陵西学区:「学びづくり部会」「心づくり部会」特別支援教育部会を設け、小中9年間でつきたい力(ゴールの姿)を共有しながら、実践に取り組んだ。
(2) 全体研修会 学級経営上の問題・要因志向から解決・未来志向への発想の転換について、具体的な事例をもとに講演をいただいた。 参加者にとって、2学期からの学級経営に活用できるものであると、大変好評であった。
(3) 学力対策委員会 各種学力調査の結果にもとづいて作成したアクションプランを持ち寄り、取り組み状況や課題、改善策について共有を図ることができた。さらに、資質・能力の育成を図るためのアクションプランの作成の仕方について、教育事務所の指導主事から説明を受け、次年度に向けての方向性を見通すことができた。
(4) 課題研究部会 全国学力学習状況調査「英語」のスピーキング問題の体験、各小中学校の英語教育の現状と課題の情報交換、公開授業を通じた外国語活動のイメージを共有しながら、英語教育における小中連携の必要性を実感することができた。
(5) 公開授業研究会 中学校区ごと授業公開することによって、中学校区ごとの小中連携を図りながら、授業改善をより強く進めることができた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市教育研究所の運営、小4、中1における全国学力調査業者テスト(標準学力調査)を中止とする。 (R2予算 8,335千円)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	理科教育センター運営事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 理科教育センター費

## 2. 事業の概要

事業目的	小中学校における理科教育の充実と、教員の資質向上を図る。
事業内容	寒河江市理科教育センターを設置し、理科教育に関する調査研究、研修、備品器具類の貸し出し、会報の発行等を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	159	補正額等		合計	159	決算額	152
30	当初予算額	159	補正額等		合計	159	決算額	159

## 4. 事業の実施状況

(1) 運営委員・所員合同会の開催 (4月・2月)	
(2) 研修活動の実施 (参加状況・研修内容:	
一般研修	14名(H30 14名)〔「プログラミング学習の進め方」〕
小3年研修	14名(H30 13名)〔「物の重さを比べよう」〕
小4・5年合同研修	11名〔「物の体積と温度」「電流が生み出す力」〕
小6年研修	9名〔「水溶液の性質とはたらき」〕
中学校研修	8名〔「理科の授業用機器の説明」〕
(3) 調査研究	(指導案・小中理科大会要項等の情報収集等)
(4) 備品器具の貸し出し	(理科センター備品・教材貸出)
(5) 所報の発行	(3月発行 第55号)

## 5. 事業の評価

(1) 小学校におけるプログラミング教育の完全実施にむけて、一般研修では「理科におけるプログラミング教育」について研修を行った。新しい教科書に記載されているプログラミングの実験道具も実際に活用し、新学習指導要領に即した、今後の授業に役立つ研修ができた。 また、身近なもので教材を作ることができ、授業で活用することができるものが多い有意義な研修になった。
(2) 授業の前の時期に研修を行うことで、参加者が学んだことを各学校に還元し、理科の授業改善が図られている。
(3) 自然の事物・現象に進んでかかわり、実感を伴った理解を図りながら、子どもたちに科学的な見方や考え方を養っていくうえで、理科教育センターが担う役割や今後の期待はますます大きなものとなっている。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	知的好奇心や探究心をもって、自然に親しみ、目的意識をもった観察・実験を行う児童生徒を多く育てていくため、また、「観察・実験の結果などを整理・分析したうえで、解釈・考察し、説明すること」などの資質・能力の育成を目指し、今後も、各学校における理科の探究的な授業改善につながる各種研修等を企画・実施していく。 特に、プログラミング的思考を活用した授業を今後展開していくうえでも、理科センター研修の中に位置づけ、教員の資質向上につなげていくと共に、各校において授業の中でどのような教材を必要としているか情報を共有していく。 令和2年度年度については、新型コロナウイルス感染症対策のため、研修等では中止するが、情報共有や実験器具の整備調整を行う。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	英語力育成事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 外国語(英語)学習や国際理解教育の推進	予算科目	10: 教育費 1: 教育総務費 3: 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	各中学校区へのALTの配置や各小学校へのAETの派遣等を行い、市内小学校の外国語活動や中学校の外国語の学習を充実させるとともに、小中連携による系統的な学習を推進し、児童生徒に英語力を身に付けさせる。
事業内容	(1)ALT(3名)、AET(3名)を市内13小中学校に派遣し、小学校の外国語活動や中学校の外国語学習の支援を行う。 (2)1日英語だけで過ごす「English Day」事業を実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	7,804	補正額等	合計	7,804	決算額	5,465
30	当初予算額	7,792	補正額等	合計	7,792	決算額	6,497

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) ALT3名を市内13の小中学校に学期ごと計画を立てて派遣し、小学校の外国語活動・中学校の英語学習への支援を行った。</p> <p>① ALT派遣回数(のべ回数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 1学期109回、2学期122回、3学期 68回、計299回 ※ 3月は臨時休業に伴い、派遣なし。 (H30 1学期109回、2学期114回、3学期 73回、計298回)</li> <li>・中学校 1学期 86回、2学期103回、3学期 37回、計226回 ※ 3月は臨時休業に伴い、派遣なし。 (H30 1学期 86回、2学期 96回、3学期 59回、計241回)</li> </ul> <p>② AET派遣回数(のべ回数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 1学期157回、2学期220回、3学期105回、計482回 ※ 3月は臨時休業に伴い、派遣なし。</li> </ul> <p>③ ALT・AET派遣回数 合計 1007回(H30 803回)</p> <p>(2) 1日英語だけで過ごす「English Day」事業を実施した。</p> <p>場 所 : 学びの里TASSHO 参加者 : 26人(小学校:5年生15人、6年生4人、中学校:1年生5人、2年生:2人)(h29:15名、h30:25名) 講 師 : 7人(市内外のALT・AET)</p> <p>(3) 英語教育推進会議の実施(2月) 令和2年度から使用する小学校5・6年生の教科書についての、研修(東京書籍)。</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1) 小学校の外国語活動の時間数増に対応するため、AETの派遣回数を増やした(小学校3・4年生15 → 35、5・6年生50 → 70)。</p> <p>(2)「English Day」の実施方法について、開催場所を学びの里TASSHO、開催期日を夏休みの平日、スクールバスによる送迎など、工夫することで、参加者の増につながった。</p> <p>(3)教科書出版会社の担当者から、教科書のデジタルブックの活用方法について説明を聞き、次年度からの指導に備えることができた。</p> <p>(4)3月の臨時休業中に、ALT・AETを放課後学童クラブに派遣し、学童クラブにおける外国語活動を実施した。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 10月に、中学2年生を対象とした、GTEC(4技能スコア型試験)の実施。事前研修会、事後研修会(分析)を実施し、生徒の英語力の育成と教師の指導力向上(授業改善)を図る。</p> <p>(2)「English Day」事業は、1学期の終業が8月上旬まで延長された(新型コロナウイルス感染症による臨時休業への対応)ことを踏まえ、令和2年度は、中止とする。</p> <p style="text-align: right;">(R2予算 19,518千円)</p>

※ ALT=外国語指導助手(外国人)    AET=外国語指導支援員(日本人)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育相談事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 教育相談機能の充実	項目	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	不登校をはじめとする学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学校への復帰を図る。
事業内容	(1)教育相談室に教育相談員を配置し、学校教育や家庭生活全般にわたる相談に対応するとともに、不登校の原因把握に努める。 (2)不登校児童生徒の学校復帰のための適応指導教室「寒陵スクール」を開設する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	4,312	補正額等		合計	4,312	決算額	3,981
30	当初予算額	4,312	補正額等		合計	4,312	決算額	3,755

## 4. 事業の実施状況

(1) 教育相談室の概要
① 相談員の配置：教育相談員4名(うち、訪問相談員3名)
② 相談の件数： ○学 校 来室相談 54件、電話相談 158件、学校訪問 72件 (延べ) ○保護者 来室相談 83件、電話相談 252件、家庭訪問 193件
(2) 寒陵スクールの概要(教育相談員が運営)
① 在籍児童生徒：計10名(小学生1名、中学生9名)
② 開設日数：208日(勤労青少年ホーム：192日 フローラSAGAE、市立図書館：16日)
③ その他：長期休業中の学習(2日)、体験活動(遠足・調理実習・クリスマスリース作り)、個人面談、保護者懇談会を実施

## 5. 事業の評価

(1) 令和元年度の不登校による年間30日以上欠席者 小学生9名(前年度5名)、中学生40名(前年度54名)
(2) 寒陵スクール在籍児童生徒進路状況 中3(4名)の内、1名は私立高校、3名は霞城学園に進学した。
(3) 寒陵スクールから学校への復帰者 1名(中学生)
(4) 寒陵スクール・訪問相談では、心に寄り添った相談を通して、本人や保護者の心の安定を図ることができた。学校・保護者・相談員が情報を共有することで、児童の学校出席につながっていくケースもみられた。

## 6. 今後の対応等

方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)寒陵スクールが、保護者や児童生徒の心の拠り所となるよう、個々の悩みに寄り添っていく。その中で、学校への登校を促すことや、寒陵スクールで自分の生き方を見つめ直すなど、自立を促す取り組みをさらに進めていく。 (2)各学校の生徒指導担当者や教育相談担当者、特別支援教育コーディネーター、福祉部局や外部の専門機関と連携していく。 (3)学校との連携強化と共に、担任と生徒が関わる機会を増やせるように調整をしていく。(寒陵スクールへの担任訪問等)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学力向上支援員配置事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興計 画	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 学ぶ力を高める教育の推進 2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進 特別支援教育の充実	予算科目	10: 教育費 1 教育総務費 3: 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	個に応じたきめ細やかな学習支援を行い、児童生徒に確かな学力を身につけさせるために、学校の状況に応じて学力向上支援員・特別支援教育補助員を配置し活用する。 重度な障がい等により学習活動上の補助や日常生活上の補助等が特に必要な児童生徒に対して、個に応じたきめ細やかな支援を行うために、当該小中学校に学校生活補助員を配置する。
事業内容	小中学校への学力向上支援員・特別支援教育補助員・学校生活補助員の配置・学力並びに自尊感情の向上に向けた学習・生活上の支援を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	32,240	補正額等		合計	32,240	決算額	27,295
30	当初予算額	20,683	補正額等		合計	20,683	決算額	17,441

## 4. 事業の実施状況

(1) 配置校	①学力向上支援員 寒河江小(3名)、寒河江中部小(3名)、南部小(1名)、西根小(1名)、柴橋小(2名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(1名)、三泉小(1名)、陵東中(2名)、陵南中(2名)、陵西中(1名) 計 12校 (19名)H30と同数 ②特別支援教育補助員 寒河江小(1名)、寒河江中部小(1名)、南部小(1名)、柴橋小(1名)、三泉小(1名)、陵東中(1名)、陵南中(1名) 計 6校(6名) ③学校生活補助員 南部小(1名)
(2) 勤務体制	年間210日程度(授業日)、学校の実情等に応じて4~6時間の勤務

## 5. 事業の評価

(1) 小中学校6校に特別支援教育補助員を配置することで、通常学級において特に個別の支援が必要な児童生徒や特別支援学級に在籍する児童生徒に対する学習・生活上の支援を行うことができた。
(2) 学校生活補助員を配置することで、重度な障がい等により学習活動上の補助や日常生活上の補助等が必要な児童に対して、個に応じたきめ細やかな支援を行うことができた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	寒河江学園に入所している児童が通う三泉小学校、令和2年度、特別支援学級が5学級になる陵南中学校に特別支援教育補助員を1名ずつ増員する。 (R2予算 40,563千円)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	障害児通学支援事業	所管課・係	学校教育課
			学事係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む	予算科目	10 教育費
教育振興計 画	2 特別支援教育や教育相談機能の充実と推進	項	1 教育総務費
	特別支援教育の充実	目	3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	障がいにより自力通学が困難で、かつ保護者による送迎も困難な児童生徒の学習参加の利便向上と保護者の負担軽減を図る。
事業内容	登校時または下校時のタクシー送迎を市内タクシー会社に委託し、通学支援を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	1,482	補正額等		合計	1,482	決算額	1,288
30	当初予算額	1,237	補正額等		合計	1,237	決算額	725

## 4. 事業の実施状況

(1) 実施	登校時または下校時のタクシー送迎による通学支援
(2) 利用状況	小学校: 5校、8名、延べ 1086回 (h30 3校8名、延べ605回) 中学校: 1校、4名、延べ 412回 (h30 1校3名、延べ228回) 合計: 6校、12名、延べ 1498回 (h30 4校11名、延べ833回)

## 5. 事業の評価

<p>家庭、学校及びタクシー会社が連携し、個々に応じた支援体制を整えたことで、障がいのある児童生徒の就学の適正化が図られ、保護者の負担軽減に繋がっているが、登下校往復での支援でないがゆえに、保護者の都合がつかない場合は対象児童生徒がひとりで登下校する場合がある。</p> <p>令和元年度は、国庫補助対象外である寒河江学園の児童生徒にも利用をしてもらうなど、制度の積極的な利用を図った。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	引き続き、登下校往復での支援が出来る予算を要求していく。



# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	さがえっこライフデザインセミナー事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 2 命や生き方を大切に教育の推進 学校・家庭・地域が連携した命や生き方を考える教育の推進	予算科目	款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	未来の寒河江を担う「さがえっこ(小中学生)」に、市内外各界で活躍している方の講話等を通して、将来の人生設計について働きかける。結婚や子どもを産み育てる大切さ等についても題材とし、結婚や人口減少対策が家庭でも話題となるよう保護者の参加も促し、意識啓発を図る。
事業内容	(1) 市内各小中学校で選定した講師による、「ライフデザイン」に関する講話等の実施 (2) さがえっこ育み推進本部や市PTA連合会と連携した講演会や研修会の実施

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	1,000	補正額等	3	合計	1,003	決算額	891
30	当初予算額	-	補正額等	-	合計	-	決算額	-

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 市内各小中学校における講話等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内すべての小中学校で、30回にわたって「ライフデザインセミナー」を実施した。(小学校:24回、中学校:6回)</li> <li>実施内容 地域や日本、世界で活躍する方による講話、地域で活躍する企業の方による講話、地域貢献に関する講話、職業に関する講話、命や誕生に関する講話、ライフデザインに関する講話、夢に関する講話、郷土のよさ、歴史、文化に関する講話等</li> </ul> <p>(2) さがえっこ育み推進本部と連携した、子育て・家族に関する講演会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>期日 令和元年12月14日(土) 会場 寒河江市ハートフルセンター 多目的ホール</li> <li>演題 「ライフデザインと共に考える さがえっこことの向き合い方」・講師 石田 晃 氏(大家族「石田さんち」の父)</li> </ul> <p>(3) 市PTA連合会と連携した、ライフデザインに関する研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>期日 令和2年2月7日(金) 会場 ホテルサンチェリー</li> <li>演題 「親の時代とこんなにちがう!子ども達のためのライフデザイン講座」</li> <li>講師 武田靖子 氏(県ウエディング協会会長)</li> </ul>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1) 市内各学校で「ライフデザイン」に関する講話を実施することで、児童生徒にこれからの生き方を深く考えさせることができた。また、地域で活躍する方々の講話や命・誕生・ライフデザインに関する講話等を通して、地域のよさや結婚・子育てなどにも意識を向けさせることができた。</p> <p>(2) 各学校で実施する講話の内容によって保護者の参加を呼びかけたり、さがえっこ育みフォーラムや市PTA連合会教育研修会での講演・講話を実施したりしたことにより、児童生徒のこれからの「ライフデザイン」を、家庭や地域とも連携して一緒に考えることができた。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 未来の寒河江を担う「さがえっこ」が、自分の「ライフデザイン」について深く考え、地元に残って生活し、結婚・子育てをしたいという思いを強くもってもらえるよう、保護者や地域とも連携しながら、今後もこの事業を継続して実施していく。</p> <p>(2) それぞれの学校で計画を立てる際の参考となるよう、各学校で実施した事業の実施内容や講師についての情報を整理してセンターサーバーに保存し、共有化を図るようにする。 (R2予算 1,000千円)</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	小中学校ICT活用支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計画	【基本方針2】 学ぶ力を身に付け、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。また、子供たちがICTを正しく活用できる力を養えるよう支援する。
事業内容	・校務支援システムの運用 ・ICT支援員による各学校での指導助言 ・ICT機器の保守点検

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	12,300	補正額等	127,321	合計	139,621	決算額	10,737
30	当初予算額	3,766	補正額等		合計	3,766	決算額	3,759

## 4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校におけるICT関連機器の不具合等に迅速に対応するため、保守点検の委託業務を実施。</li> <li>・教職員のICT活用支援のため外部委託で支援員を設置し、各学校での指導助言を行った。</li> <li>・校務支援システムを全小中学校に導入した。</li> <li>・補正予算にて、小中学校校内LAN整備の工事及び設計業務委託について計上(R2へ繰越)</li> </ul>
--

## 5. 事業の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小中学校に校務支援システムを導入したことにより、「名簿」「出欠情報」「成績処理」「通知表作成」「指導要録作成」が一元的に行えるようになった。</li> <li>・ICT支援員によるICT機器を活用した授業及び校務全般の指導助言を全小中学校で実施した。</li> </ul>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>学校内のネットワーク(校内LAN)は、1人1台のタブレット整備や遠隔教育、動画等を活用した授業スタイルに適応した高速大容量のものに改修し、想定される最大限の同時利用時にも遅延が無いよう、通信環境を整備する。 (R2:14,132千円+繰越85,950千円)</p> <p>※令和2年度補正予算により、小中児童生徒全員に年度内タブレットPCを配布する。(補正予算:331,212千円)</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	就学援助事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計 画)	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進  信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護児童及び特別支援学級児童の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該児童の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	12,120	補正額等		合計	12,120	決算額	7,762
30	当初予算額	12,899	補正額等		合計	12,899	決算額	8,555

## 4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護児童就学援助費の支給 対象児童:165名 金額 6,939,656円(支出7,115,361 戻入175,705)  
(H30:187名 7,784,391円)  
(165名中、入学準備金対象者 7名 357,420円)(H30:17名 860,200円)

(2) 特別支援教育就学奨励費の支給 対象児童:36名 金額 821,970円(支出842,690円 戻入20,720円)  
(H30:33名 769,750円)

※「戻入」は、コロナウイルス感染予防のための学校休業により、給食が提供できなかったための給食費支給額の変更による。

他市町村の支給状況(寒河江市では支給なし)

体育実技用具費	山形市・米沢市・鶴岡市・酒田市・新庄市・天童市・南陽市・山辺町・舟形町・真室川町・鮭川村・高島町・川西町・白鷹町・飯豊町
通学費	酒田市・新庄市・上山市
生徒会費	村山市・尾花沢市・南陽市・中山町・朝日町・川西町・庄内町
PTA会費	村山市・尾花沢市・中山町・朝日町・大江町・高島町・川西町・庄内町

## 5. 事業の評価

準要保護児童に係る「新入学学用品費等」の年間支給額をH29年度よりも約50%増加した。(20,470円/人→40,600円/人)
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	国では援助費における体育実技用具費(スキー・スケート靴等)、通学費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費等の導入を奨励している。 現在、寒河江市においては導入していないため、援助費内容の拡大を検討していく。  令和2年度、新型コロナウイルスの影響により、収入が大きく減少した世帯についても支給対象となるよう(通常は、前年度の世帯収入により判断)制度の見直しを行う。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	就学援助事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計 画)	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進  信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費
		項	3 中学校費
		目	3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護生徒及び特別支援学級生徒の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該生徒の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、クラブ活動費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	19,096	補正額等	合計	19,096	決算額	11,341
30	当初予算額	15,762	補正額等	合計	15,762	決算額	12,173

## 4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護生徒就学援助費の支給	対象生徒:113名	金額	10,621,093円(支出10,757,648 戻入136,555) (H30:116名 11,465,664円) (113名中、入学準備金対象者 20名 1,200,000円)(H30:26名 1,492,400円)
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象生徒:23名	金額	719,434円(支出732,215円 戻入12,781円) (H30:14名 707,035円)
※「戻入」は、コロナウイルス感染予防のための学校休業により、給食が提供できなかったための給食費支給額の変更による。			
他市町村の支給状況(寒河江市では支給なし)			
体育実技用具費	山形市・米沢市・鶴岡市・酒田市・新庄市・天童市・長井市・南陽市・山辺町・真室川町・高島町・川西町・白鷹町・飯豊町		
通学費	酒田市・新庄市・上市市・三川町		
生徒会費	村山市・尾花沢市・南陽市・中山町・朝日町・川西町・庄内町		
PTA会費	村山市・尾花沢市・中山町・朝日町・大江町・高島町・川西町・庄内町		

## 5. 事業の評価

寒河江市ではR1年度からクラブ活動費を支給項目に追加し、援助を拡大した。R1実績1850千円(上限29,850円、支給人数71名)
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	国では援助費における体育実技用具費(スキー・柔道、剣道用具等)、通学費、生徒会費、PTA会費等の導入を奨励している。 他の項目については、寒河江市においては導入していないため、援助費内容の拡大を検討していく。  令和2年度、新型コロナウイルスの影響により、収入が大きく減少した世帯についても支給対象となるよう(通常は、前年度の世帯収入により判断)制度の見直しを行う。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

<b>事業名</b>	学校給食事業(小学校)	<b>所管課・係</b>	学校教育課 学事係
<b>施策体系</b>	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	<b>予算科目</b>	10 教育費
<b>教育振興計画</b>	4 食育の推進		2 小学校費
	豊かな心と命を育む食育の推進 地産地消の推進		2 学校保健費

## 2. 事業の概要

<b>事業目的</b>	学校給食を実施することにより、児童の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。
<b>事業内容</b>	全小学校において自校調理方式による完全給食を実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	115,612	補正額等	△ 224	合計	115,388	決算額	104,574
30	当初予算額	109,346	補正額等	358	合計	109,704	決算額	103,610

## 4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校給食費の助成</li> <li>(2) 給食調理業務の民間委託(西根小、柴橋小、高松小にて実施)</li> <li>(3) 「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</li> <li>(4) 給食だより等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシピを保護者や地域の方に配布したりして、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</li> <li>(5) 各種会議・研修会の開催 献立作成会議、調理師研修会、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</li> </ul>
---

## 5. 事業の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成29年度から開始した給食費助成を継続し、保護者の教育費負担の軽減を図った。 (給食費1食280円。28年度までは260円。)</li> <li>(2) 小学校給食費の半額を助成 小学校給食費単価を見直し給食内容を充実させ、保護者が負担する給食費の半額を助成。</li> <li>(3) 小学校の第3子以降の給食費は全額助成 対象範囲を高校3年生までとして、小学校に在籍する児童が第3子以降に該当する場合は、その対象児童の給食費を全額助成。</li> </ul>
---

## 6. 今後の対応等

<b>方向性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
<b>今後の対応</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税増税等により、令和2年度から給食費を1食300円に改定したが、保護者負担の増とならぬように、保護者負担額は前年同額の140円として、市が160円を助成することとした。</li> <li>・令和2年度より、寒河江中部小、南部小にて給食調理業務民間委託を開始。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R2: 144, 385千円)</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校給食事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む	予算科目	10: 教育費
教育振興計画	4 食育の推進 豊かな心と命を育む食育の推進 地産地消の推進		3: 中学校費
			2: 学校保健費

## 2. 事業の概要

事業目的	中学校給食を実施することにより、成長期にある中学生に安全安心で栄養バランスのとれたおいしい食事を提供し心身の健全な発達に資するとともに、それを生きた教材として活用し食育の充実を図る。
事業内容	全中学校において民設民営による給食センター方式で完全給食を実施する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	191,242	補正額等		合計	191,242	決算額	186,081
30	当初予算額	189,470	補正額等	651	合計	190,121	決算額	189,401

## 4. 事業の実施状況

<p>(1) 中学校給食費の助成(h29~)</p> <p>(2) 「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</p> <p>(3) 給食日より等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシピを保護者や地域の方に配布するなど、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</p> <p>(4) 各種会議・研修会の開催 献立作成会議、調理師研修会、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1) 平成29年度から開始した給食助成について、これまで1食310円のうち15円を助成していたが、令和元年度から半額の155円を助成し、保護者の負担軽減を図った。</p> <p>(2) 食育事業 住宅フェアで寒河江産子姫芋と肉団子使ったスープ及び寒河江産秘伝豆を使った「めた餅」を調理し振る舞った。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>・消費税増税等により、令和2年度から給食費を1食330円に改定したが、保護者負担の増とならぬように、保護者負担額は前年同額の155円として、市が175円を助成することとした。</p> <p>(R2: 201,072千円)</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	市史編纂事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切にすることの推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 8 市史編纂費

## 2. 事業の概要

事業目的	歴史資料の収集、調査を行い、市史を発刊し、寒河江市の歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1)市史編纂専門員3名の配置 (2)郷土資料の収集・解説・研究 (3)市史等の原稿執筆・編集・発刊

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	9,317	補正額等	△ 120	合計	9,197	決算額	7,877
30	当初予算額	10,946	補正額等		合計	10,946	決算額	10,062

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)市史編纂委員会を開催して、市史の編集・発刊等について協議した。  (2)市史編纂事業計画に基づいて、寒河江市史資料編「慈恩寺最上院日記 上」を発刊した。  (3)寒河江市史編纂叢書第89集「西根南 渡辺吉兵衛家資料」、市史資料所在目録第20号を発刊した。  (4)前年度に引き続き歴史文化活動推進員に依頼し、市内の絵馬の調査を実施した。  (5)市史編纂事業の周知と資料収集の広報を兼ねて、市報5日号「生涯学習のまど」内に、「市史編さんだより」を掲載した。</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)市史資料編「慈恩寺最上院日記 上」、市史編纂叢書を発刊し、市民の歴史文化への関心を深め、市の歴史を後世に伝えることができた。  (2)市内所在絵馬の調査を実施するとともに、慈恩寺最上院日記等古文書の解説を行い、市内の歴史・文化資料の保存と活用に適正に対応した。  (3)「市史編さんだより」の市報掲載や歴史に関する相談に対応し、ふるさとの歴史の啓発・普及に努めた。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)市史編纂委員会において策定した、市史編纂事業計画に基づいて発刊作業を進める。令和2年度は、市史資料編「慈恩寺最上院日記 下」の発刊となる。また、市史編纂叢書第90集と、市史資料所在目録を発刊する。  (2)市史編纂専門員体制を維持し、歴史文化活動推進員の協力を得ながら、市史編纂事業を実施し、郷土資料の散逸・消失を 방지調査研究と普及を行う。</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	文化財保存活用事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切に活動の推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

## 2. 事業の概要

事業目的	(1)県指定天然記念物種蒔ザクラを活用し、まちづくり及び観光振興を図る。 (2)文化財の保存活用を推進する。
事業内容	(1)種蒔ザクラ環境整備工事 (2)指定文化財候補の指定準備

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	6,556	補正額等		合計	6,556	決算額	5,015
30	当初予算額	11,042	補正額等	△ 44	合計	10,998	決算額	10,655

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)種蒔ザクラ観賞のための駐車場新設等、環境整備を実施した。 (2)ふるさと歴史百選に選定している花買場跡地の寄附を受けるにあたって、分筆登記に伴う業務等を委託した。</p>
---

## 5. 事業の評価

<p>(1)種蒔ザクラ下に駐車場を新設したことで、地区内外からの見学者が安全に鑑賞することができるようになった。また、長らく死角となっていたビューポイントを復活させたことで、地元住民の保存意識がさらに高まり、指定文化財の保護に資するものとなった。 (2)本市の紅花生産・取引史上特徴的な場である花買場跡地の分筆により、土地の寄附受納や本市歴史文化の伝承に向けて、事業を前進させることができた。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1)令和2年度は、種蒔ザクラの保護育成を図る。 (2)文化財を後世に伝えるため、文化財の保存と活用に努めていく。</p>



# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課
		歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う	予算科目
教育振興計画	2 郷土の歴史と文化を大切に活動の推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護 史跡「慈恩寺旧境内」の保存と活用	10 教育費
		4 社会教育費
		9 歴史文化費

## 2. 事業の概要

事業目的	埋蔵文化財の調査・保存を図るとともに、歴史と文化を尊び文化財に対する市民の意識高揚を図る。
事業内容	(1) 史跡の追加指定に関係する遺跡の調査を行う。 (2) 文化財保護法に基づき市内遺跡の調査を行い、報告書を作成するとともに埋蔵文化財の記録保存を行う。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	2,425	補正額等	268	合計	2,693	決算額	2,687
30	当初予算額	2,133	補正額等		合計	2,133	決算額	2,092

## 4. 事業の実施状況

<p>(1)発掘調査</p> <p>①史跡の追加指定に向けて、慈恩寺遺跡(上の寺遺跡関連地)を調査した。</p> <p>②史跡ガイダンス施設建設予定地・柴橋橋跡について、試掘調査を実施した。</p> <p>(2)工事立会</p> <p>国史跡「慈恩寺旧境内」の電柱撤去・設置等並びに埋蔵文化財包蔵地「高瀬山遺跡」の給水管廃止工事に伴い、工事立会をした。</p> <p>(3)慈恩寺調査検討委員会</p> <p>委員会を2回開催し、史跡の追加指定に向けて、上の寺遺跡の発掘調査の進め方の検討や調査状況を報告した。</p> <p>(4)埋蔵文化財フェア</p> <p>「結髪形土偶、立ち上がる」7月25日～8月6日 市美術館 510名(H29 7/27～8/8 246名)</p> <p>講演会 7月27日 郡山女子大学短期大学部 会田容弘氏 40名(H29 30名)</p>
--

## 5. 事業の評価

<p>(1)上の寺遺跡関連地の内容確認調査を行い、国史跡の追加指定に向けた範囲確定のための新たな資料を得た。また、工事立会や試掘調査により市内遺跡を保護し、後世へ継承することができた。</p> <p>(2)埋蔵文化財フェアでは、本市で出土し、長い間別々に保管されていた土偶の本体と脚部を一体のものとして公開・展示し、本市埋蔵文化財への関心を高めた。また、本市にまつわる研究者を紹介し、市史「環境・考古編」の発刊を周知できた。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 国や県の指導を受けながら慈恩寺調査検討委員会で協議し、史跡追加指定を目指す。</p> <p>(2) 市内遺跡に関係する工事や開発事業の情報収集に努め、随時対応する。</p> <p>(3) 埋蔵文化財の調査や「埋蔵文化財フェア」を開催して、遺跡の価値等について市民に広く周知していく。</p> <p>(R2予算 4,954千円)</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	郷土館保存事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	【基本方針4】 ふるさとに誇りを持ち、郷土の歴史と文化を大切にすることを養う 2 郷土の歴史と文化を大切に活動の推進 ふるさとの歴史の啓発・普及と文化財の保護	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

## 2. 事業の概要

事業目的	(1)県指定文化財である旧西村山郡役所、旧西村山郡会議事堂の保存を図る。 (2)郷土の歴史資料展示施設として、市民の郷土学習活用を図り、歴史と文化を後世に伝える。
事業内容	(1)郷土館の維持管理 (2)郡制時代をテーマとした資料館として一般開放 (3)郷土館特別展の開催

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	3,435	補正額等	△ 72	合計	3,363	決算額	3,194
30	当初予算額	2,204	補正額等	25	合計	2,229	決算額	2,112

## 4. 事業の実施状況

(1)管理運営等の委託や維持管理 管理業務、機械警備、清掃業務等の業務委託 旧西村山郡役所塗装補修・旧西村山郡会議事堂壁紙等の修繕、浄化槽放流管工事 (2)郷土館一般公開 入館者数1,942人(平成30年度:1,882人) 4月13日～11月10日の土・日・祝日(4月13日～5月31日桜まつり・つつじまつり期間) 郷土学習対応/5月16日陵東中 6月11日柴橋小 6月14日三泉小 6月20日高松小 10月2日醍醐小 10月5日東部地区公民館 11月5日寒河江中部小 11月7日南部小 博物館実習施設見学/9月13日山形大学附属博物館 (3)郷土館特別展「東北の山岳宗教」の研究に取り組んだ月光善弘 9月20日～10月14日 入館者198名(H30 304名) 講演会 講師:市史編纂専門員宇井啓氏 参加者:46名(H30 27名) (4)ミニ展示/日本遺産「山寺が支えた紅花文化」パネル展4/13～9/16 「記念物100年」展6/22～7/21 特別企画 国史跡「慈恩寺旧境内」6/22～7/21 「未来に伝える山形の宝」パネル展8/10～8/18 (5)郷土館運営協議会の開催 11月8日 H30事業報告・H31事業計画等
---

## 5. 事業の評価

(1)維持管理等の業務委託を始め、旧西村山郡役所の部分的な塗装補修や旧西村山郡会議事堂の壁紙修繕により、施設の維持管理と文化財の保存に努めた。 (2)郷土館特別展では本市に在住していた故・月光善弘氏を特集し、研究テーマであった東北地方の山岳宗教や同氏の人となり等を紹介し、本市民の研究成果を市内外に発信することができた。また、新たにミニ展示を開催し、本市に関係する文化財等を普及することができた。 (3)市内の小・中学校の郷土学習や山形大学附属博物館の学芸員実習に対応し、館のPRや収集・保管資料の活用ができた。
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1)県指定有形文化財である建物を後世に残すため、適正に保存していく。 (2)特別展等の開催や展示替えを行い、郷土を学ぶ環境づくりに努める。

# 事務事業点検・評価調査

## 1. 事業名等

<b>事業名</b>	教育委員会事務局管理事業	<b>所管課・係</b>	学校教育課 教育総務係
<b>施策体系</b>	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	<b>予算科目</b>	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費
<b>教育振興計画</b>	4 開かれた教育行政の推進  信頼に応える教育行政の推進 教育情報の公開と共有化の推進		

## 2. 事業の概要

<b>事業目的</b>	教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。
<b>事業内容</b>	(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務 (2) 教育功労、叙勲等に関する事務 (3) 教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務 (4) 学校基本調査等各種調査に関する事務 (5) その他学校教育課内の庶務に関する事務

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	3,342	補正額等		合計	3,342	決算額	2,959
30	当初予算額	3,366	補正額等		合計	3,366	決算額	2,623

## 4. 事業の実施状況

	<p>(1) 「寒河江市立学校のあり方検討委員会」に対し、児童生徒の減少及び校舎の老朽化を踏まえ、学校の適正規模適正配置、将来の学校像等基本的な方針について諮問した。(委員会は3回実施)</p> <p>(2) 教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・高齢者叙勲 1件(H30 1件) ・死亡叙位 3件(H30 3件)</p> <p>(3) 教育委員会が執行した事務事業(平成30年度分)の点検・評価を実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表。</p> <p>(4) 学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行。</p> <p>(5) 寒河江市総合教育会議の開催 ※平成31年度は2回開催(H30 2回)</p> <p>(6) 教育委員に関する事務(毎月の定例委員会、視察研修、学校訪問等)</p> <p>(7) 学校施設整備時のアドバイザーとして、建築士に指導助言等の業務を委託 167万円</p> <p>(8) 公用車等の借り上げ料 26万円</p>
--	--

## 5. 事業の評価

	(1) 「寒河江市立学校のあり方検討委員会」を立ち上げ、委員会に対して諮問し、将来の寒河江市の学校像等基本的な方針を検討するスタートを切ることができた。
--	--

## 6. 今後の対応等

<b>方向性</b>	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
<b>今後の対応</b>	<p>・「寒河江市立学校のあり方検討委員会」からさらに検討を重ねていただき、令和3年12月見込の答申へとつないでいく。</p> <p>・今年度で閉校となる幸生小学校について、閉校記念式典等補助金として200万円を計上。 (R2:6,061千円)</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	小学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 安全安心で充実した教育環境の整備 安全管理の徹底	項	2 小学校費
		目	1 学校管理費

## 2. 事業の概要

事業目的	小学校児童の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、小学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	小学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

### ○現年度

31	当初予算額	157,022	補正額等	11,493	合計	168,515	決算額	155,148
30	当初予算額	142,962	補正額等	434,934	合計	577,896	決算額	318,280

※H30→H31繰越=255,397千円

### ○繰越明許

31	当初予算額	255,397	補正額等		合計	255,397	決算額	255,397
----	-------	---------	------	--	----	---------	-----	---------

## 4. 事業の実施状況

(1) 保守点検、施設管理業務委託等
① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、ボイラー清掃管理業務、FF暖房機点検清掃業務、ガス機器等点検業務、各小学校樹木剪定等 88件(H30 126件)
② 印刷機賃貸借 外
(2) 修繕
各小学校ガス機器点検後修繕、寒河江中部小学校体育館暗幕修繕、南部小体育館屋根雨漏り修繕等 106件(H30 126件)
(3) 施設整備工事
各小学校普通教室等空調設備工事、児童昇降口監視カメラ設置工事、体育館トイレ洋式化改修工事等 58件(H30 61件)
(4) 備品整備
児童用椅子、職員用事務椅子、寒河江小・中部小・南部小除雪機 外

## 5. 事業の評価

(1) 体育館トイレの洋式化を推進するために未整備8校において洋式便器の増設を実施し、児童の衛生環境改善と避難所としての防災機能の強化に努めた。
(2) 昨年度より進めてきた小学校普通教室、特別支援教室等のエアコン設置が6月で完了し、猛暑による熱中症対策として快適な学習環境の整備を図ることができた。
(3) 登下校時の安全確保と防犯機能の向上を図るために監視カメラ未整備8校の児童用昇降口に監視カメラを設置し、学校の管理体制を整えた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	(1) トイレ洋式化については、設置率50%と乾式化の整備を学校現場の要望を踏まえながら計画的に進めていく。 (2) エアコン整備については、普通教室及び特別支援教室のエアコン設置が完了し、今後は特別教室の整備を計画的に進めていく。 (3) 施設老朽化に伴う突発的な修繕や工事が増えており、これらへの対応判断が非常に難しい現状となっている。安全面を最優先にしながら優先順位を見極め、適切かつ迅速な対応に努める。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	中学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 安全安心で充実した教育環境の整備 安全管理の徹底	項目	3 中学校費
		目	1 学校管理費

## 2. 事業の概要

事業目的	中学校生徒の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、中学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	63,305	補正額等	5,877	合計	69,182	決算額	61,420
30	当初予算額	122,263	補正額等	57,672	合計	179,935	決算額	129,988

※H30→H31繰越=24,348千円

### ○繰越明許

31	当初予算額	24,348	補正額等		合計	24,348	決算額	24,348
----	-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

## 4. 事業の実施状況

(1) 保守点検、施設管理業務委託等
① 警備保障業務、消防用設備保守点検業務、ボイラー清掃管理業務、貯水槽清掃点検業務、各中学校樹木剪定等 51件 (H30 56件)
② 印刷機賃貸借 外
(2) 修繕
陵南中消火管漏水修繕、陵南中体育館上部排煙装置修繕、陵西中北側汚水樹修繕等 37件 (H30 48件)
(3) 施設整備工事
1・2年生普通教室等空調設備整備工事、中学校体育館トイレ洋式化改修工事、水飲み場浄水器設置工事 陵東中学校職員トイレ汚水配管改修工事等 33件(H30 38件)
(4) 備品整備
生徒用椅子、職員用事務椅子、陵東中・陵南中除雪機 外

## 5. 事業の評価

(1) 体育館トイレの洋式化を推進するために未整備2校において洋式便器の増設を実施し、生徒の衛生環境改善と避難所としての防災機能の強化に努めた。
(2) 昨年度より進めてきた1, 2年生の普通教室、特別支援教室等のエアコン設置が6月で完了し、猛暑による熱中症対策として快適な学習環境の整備を図ることができた。
(3) 給水管の腐食等老朽化に伴い、安心安全な飲用水を提供するために、各中学校の各階2か所ある水飲み場のうち1か所に浄水器を設置し、生徒が安全安心に水を飲めるような環境整備に努めた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	築50年を超える陵東中を筆頭に3つの中学校とも施設老朽化が著しく、突発的な修繕、工事等の対応が非常に増えてきており、これらへの対応判断が非常に難しい現状となっている。 今後の施設整備計画策定を踏まえながら、安全面を最優先にしながら優先順位を見極め、適切かつ迅速な対応に努める。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校保健事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計 画)	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成	予算科目	10 教育費 2 小学校費 2 学校保健費

## 2. 事業の概要

事業目的	児童及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	児童及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	18,354	補正額等	225	合計	18,579	決算額	17,804
30	当初予算額	18,510	補正額等	△84	合計	18,426	決算額	17,773

## 4. 事業の実施状況

(1) 児童検診	
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	2,155名 (H30 2,179名) ④尿検査 2,156名 (H30 2,179名)
② 耳鼻科検診	1,677名 (H30 1,397名) ⑤貧血検査 347名 (H30 375名)
③ 心電図検査	364名 (H30 250名)
(2) 教職員検診	
① 一般検診	172名 (94.0%) H30 190名 (95.0%)
② 大腸がん(40歳以上希望)	106名 (76.8%) H30 158名 (77.1%)
③ 胃がん(40歳以上)	96名 (69.6%) H30 119名 (72.6%)
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルゲン)	
(4) 教職員ストレスチェックを実施(平成28年度から) 受診対象者184名中受診者153名 受診率83.2% (H30 受診対象者183名中受診者152名 受診率83.1%)	

## 5. 事業の評価

児童及び教職員の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 教職員検診において、ストレスチェック(H30・83.1%⇒R1・83.2%)の受診率は横ばいだった。今後も受診率向上の対応について検討していく。
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	学校保健安全法を遵守し、児童及び教職員の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し学習環境の整備に繋げる。教職員ストレスチェックについては、健診の重要性を周知し、学校長や養護教諭に協力していただきながら受診率アップに努めていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	学校保健事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計 画)	【基本方針1】 豊かな心と健やかな体を育む 3 健やかな体を育む取組の推進 元気に遊ぶ子どもの育成	予算科目	10 教育費 3 中学校費 2 学校保健費

## 2. 事業の概要

事業目的	生徒及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	生徒及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	9,253	補正額等	△363	合計	8,890	決算額	7,631
30	当初予算額	8,582	補正額等		合計	8,582	決算額	7,929

## 4. 事業の実施状況

(1) 生徒検診	
①身体計測・内科・眼科・歯科各検診	1,090名 (H30 1,109名)
②耳鼻科検診	550名 (H30 561名)
③心電図検査	388名 (H30 358名)
④尿検査	1,108名 (H30 1,113名)
⑤貧血検査	924名 (H30 962名)
(2) 教職員検診	
①一般検診	82名 (93.2%) H30 83名 (95.4%)
②大腸がん(40歳以上希望)	41名 (70.7%) H30 46名 (78.0%)
③胃がん(40歳以上)	44名 (75.9%) H30 48名 (81.4%)
※ 受診人数後の( )内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルゲン)	
(4) 教職員ストレスチェックを実施(平成28年度から) 受診対象者86名中受診者51名 受診率59.3% (H30 受診対象88名中受診者54名 受診率61.4%)	

## 5. 事業の評価

生徒及び教職員の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 教職員検診において、ストレスチェック(H30-61.4%⇒R1-59.3%)の受診率が減少した。今後の受診率向上の対応について検討していく。
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	学校保健安全法を遵守し、生徒及び教職員の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し学習環境の整備に繋げる。教職員ストレスチェックの受診率減少については、各自専用サイトにアクセスして2週間のうちに受診するという方法であるため、人によっては期限を忘れて受診できなかったなどの理由が考えられる。そのため、受診方法について周知し、学校長や養護教諭に協力していただきながら、受診率アップに努めていく。

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育振興事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書等の整備を行い、児童の適切な学習環境の整備を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	18,511	補正額等		合計	18,511	決算額	17,655
30	当初予算額	14,708	補正額等	△ 44	合計	14,664	決算額	14,451

## 4. 事業の実施状況

(1) 学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。

- ① 教材教具、図書等一般事業 15,810 千円 (H30 13,365千円)
- ② 理科教育振興設備整備事業 1,845 千円 (H30 1,086千円)

主な購入備品 ・プログラミング学習セット(寒河江小)  
 ・プログラミングスイッチ(南部小、幸生小)  
 ・プログラミング実験セット(西根小、柴橋小)  
 ・電源装置(白岩小)  
 ※R2からのプログラミングに関する授業開始に向け、関係教材を中心に整備。

## 5. 事業の評価

(1) 理科備品については、国庫補助金を活用し、各学校からの要望を踏まえながら、主に令和2年度から始まるプログラミング教育に向けて教材の整備を進めることができた。また、備品によっては発注から納入まで時間のかかるものもあるため、年度の早い時期からの対応に努めた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	・教材教具整備については、可能な限り学校からの要望に沿った整備を進め、継続して学習環境の充実を図っていく。 ・令和2年度は教科書の改訂年度であり、教師用教科書及び指導書について予算を計上(16,999千円) ・令和2年度、児童1人1台PCの授業実施を見据えて、デジタル教科書を各校各学年1教科分導入 (R2:32,978千円)



# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	教育振興事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針5】 教育を取り巻く環境や社会の変化に応じた取組を推進する 1 信頼される教育の推進 信頼される教育環境づくり	予算科目	10: 教育費 3: 中学校費 3: 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書等の整備を行い、生徒の適切な学習環境の整備を図る。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	11,900	補正額等	△ 148	合計	11,752	決算額	11,556
30	当初予算額	10,383	補正額等	△ 150	合計	10,233	決算額	10,000

## 4. 事業の実施状況

(1) 学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。

- ① 教材教具、図書等一般事業 10,491 千円 (H30 9479千円)
- ② 理科教育振興設備整備事業 1,065 千円 (H30 522千円)  
主な購入備品 ・力学衝突エネルギー実験器(陵東中)  
・生物顕微鏡(陵西中)
- ③ 中体連等でのバス借り上げ料 540 千円
- ④ AED借り上げ料 460千円

## 5. 事業の評価

(1) 理科備品については、国庫補助金を活用し、各学校からの要望を踏まえながら、優先的に整備すべき「重点設備」である顕微鏡などの実験器具等を整備したことにより、指導内容の充実に繋がった。備品によっては発注から納入まで時間がかかるものもあるため、早い時期からの対応に努めた。

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	・教材教具整備については、限られた予算内ではあるが、可能な限り学校からの要望に沿った整備を進め、継続して学習環境の充実を図っていく。 ・令和2年度、生徒1人1台PCの授業実施を見据えて、デジタル教科書を各校各学年2教科分導入 (R2: 11,021千円)

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	ICT整備推進事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。小学校における情報教育を円滑に行えるよう、パソコン機器や電子黒板等の整備充実を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の授業用パソコンの整備。</li> <li>・授業等で使用する電子黒板の整備。</li> <li>・校務用(職員室等)パソコンの整備。</li> </ul>

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	35,953	補正額等		合計	35,953	決算額	34,026
30	当初予算額	25,361	補正額等	△ 229	合計	25,132	決算額	23,674

## 4. 事業の実施状況

<p>小学校パソコン機器等(リースにて整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パソコン 児童用デスクトップPC195台、児童用ノートPC58台、教師用デスクトップPC21台、電子黒板用PC25台、校務用PC180台</li> <li>○プリンター A3モノカラー16台、A3カラーレーザー10台、A4モノカラー10台、A4カラーレーザー6台、A3カラーインクジェット複合機3台、A3カラーインクジェット3台</li> <li>○電子黒板等 電子黒板25台、プロジェクター10台</li> <li>○その他 ルータ、ファイアーウォール、スイッチ等</li> <li>○新たに、各小学校1クラス分のタブレット端末(iPad)290台を整備した。</li> </ul>
---

## 5. 事業の評価

<p>パソコン機器等は、基本的に5年間のリース契約にて整備、更新している。 例年、児童数の増減に合わせて、1クラス全員が授業でパソコンを使用できるよう配置し、情報活用能力を育てる情報教育の充実が図られた。 iPadを全小学校に整備し、Wi-Fi環境で1クラス全員がタブレットパソコンを使用できるようにした。</p>
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>授業及び家庭学習において1人1台タブレットパソコンを使用できるようにする。 (R2: 40,370千円) ※令和2年度補正予算により、小中学生全員にタブレットPCを配布する。(小中学校ICT活用支援事業に予算化)</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	ICT整備推進事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 3 情報化やグローバル化に対応した教育の推進 ICTを活用した情報教育の推進	予算科目	10 教育費
		項	3 中学校費
		目	3 教育振興費

## 2. 事業の概要

事業目的	ICTの積極的な活用を促し、効果的活用ができる学習環境づくりを支援する。中学校における情報教育を円滑に行えるよう、パソコン機器や電子黒板等の整備充実を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業用パソコンの整備。</li> <li>授業等で使用する電子黒板の整備。</li> <li>校務用(職員室等)パソコンの整備。</li> </ul>

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	14,213	補正額等	△ 392	合計	13,821	決算額	13,640
30	当初予算額	13,554	補正額等		合計	13,554	決算額	13,012

## 4. 事業の実施状況

<p>中学校パソコン機器等(リースにて整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パソコン 生徒用デスクトップPC60台、生徒用ノートPC50台、教師用デスクトップPC6台、電子黒板用PC15台、校務用PC100台</li> <li>○プリンター A3モノカラー3台、A3カラーレーザー複合機3台、A3カラーレーザー5台、A4モノカラー10台、A3カラーインクジェット複合機2台、A3カラーインクジェット3台</li> <li>○電子黒板等 電子黒板15台、プロジェクター3台</li> <li>○その他 ルータ、ファイアーウォール、スイッチ等</li> </ul>
---

## 5. 事業の評価

<p>パソコン機器等は、基本的に5年間のリース契約にて整備、更新している。 例年、生徒数の増減に合わせて、1クラス全員が授業でパソコンを使用できるよう配置し、情報活用能力を育てる情報教育の充実が図られた。</p>
--

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>小学校と同様にタブレットパソコンを、中学校でも整備する。 (R2: 18,216千円) ※令和2年度補正予算により、小中学生全員にタブレットPCを配布する。(小中学校ICT活用支援事業に予算化)</p>

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	【基本方針2】 学ぶ力を身につけ、未来を切り拓く資質や能力を育む 1 学びの充実と確かな学力の育成 多様な学習環境づくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

## 2. 事業の概要

事業目的	遠距離通学を余儀なくされている幸生・田代地区の児童生徒の就学機会を確保する。
事業内容	スクールバスの運行業務を市内タクシー会社に委託し、幸生・田代地区の児童生徒の登下校時の送迎を行う。 また、しらいわ保育所に通所する幸生・田代地区の児童の送迎を行うとともに、小中学校の校外学習活動及び陵西中学校の部活動の交通手段にも活用する。

## 3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

31	当初予算額	8,262	補正額等		合計	8,262	決算額	7,253
30	当初予算額	7,556	補正額等	160	合計	7,716	決算額	6,942

## 4. 事業の実施状況

(1) 利用者	陵西中学校 12名 (幸生地区6名・田代地区6名) ※H30 9名 (幸生地区5名・田代地区4名) 白岩小学校 2名 (田代地区2名) ※H30 5名 (田代地区5名) しらいわ保育所 7名 (幸生地区7名) ※H30 9名 (幸生地区9名)
(2) 運行状況	陵西中学校・白岩小学校及びしらいわ保育所への送迎 (延べ453日) ※H30 (延べ467日) 自然の家での体験学習や公共施設の見学学習など校外活動等の利用 (延べ113日) ※H30 (延べ132日) 陵西中学校の部活動等での利用 (延べ30日) ※H30 (延べ19日) ふるさと学習での利用 (延べ6日) 慈恩寺4日・老人ホーム2日 ※H30 (延べ5日) 慈恩寺4日・老人ホーム1日

## 5. 事業の評価

悪天候時や熊の目撃情報があった際は、安全のため通常利用する児童生徒以外にもスクールバスを利用できるようにするなど、ニーズに応じて可能な限り対応した。 バス運行業務委託業者との連絡を遅滞なく行い、スムーズなスクールバス利用が行われた。
---

## 6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各小中学校からの利用の要望に可能な限り対応するとともに、事故のないよう運行業務委託業者に指導を行う。 令和2年度は、白岩小学校と幸生小学校の統合に向けて行われる交流学習の移動手段として活用する。

---

---

令和2年8月

◆学校教育課

〒991-8601 寒河江市中央一丁目9番45号  
TEL 0237-86-2111(代表) FAX 0237-86-8691  
e-mail [kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp](mailto:kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp)

◆生涯学習課

〒991-0003 寒河江市大字西根字石川西333  
TEL 0237-86-5111 FAX 0237-86-2201  
e-mail [shogaku@city.sagae.yamagata.jp](mailto:shogaku@city.sagae.yamagata.jp)

◆スポーツ振興課

〒991-0003 寒河江市大字西根字石川西365 (市民体育館内)  
TEL 0237-84-1877 FAX 0237-86-9876  
e-mail [sports-sagae@city.sagae.yamagata.jp](mailto:sports-sagae@city.sagae.yamagata.jp)

【寒河江市教育委員会】

---

---